

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第22週 > インフルエンザの定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-7

< A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 >
夏季に入って報告数が多くなるので、その発生動向には今後とも引き続き注意が必要である



病原体情報
P.8-11

手足口病患者から検出されているウイルス 2006年 / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年 / インフルエンザウイルス 2005/06シーズン



速報
P.12

エンテロウイルス71型(EV71)の検出状況 - 愛知県



海外感染症情報
P.13-14

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / アンゴラでのコレラ流行 / ナミビアでのポリオ流行



感染症の話
P.15-18

< 野兔病 > 野兔病菌による急性熱性疾患で、代表的な動物由来感染症の一つである



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(22週)
P.19-25



22週のデータ
P.26-37



発生動向総覧

2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

< 第22週コメント > 6月9日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることとなります。宜しく御理解下さい。

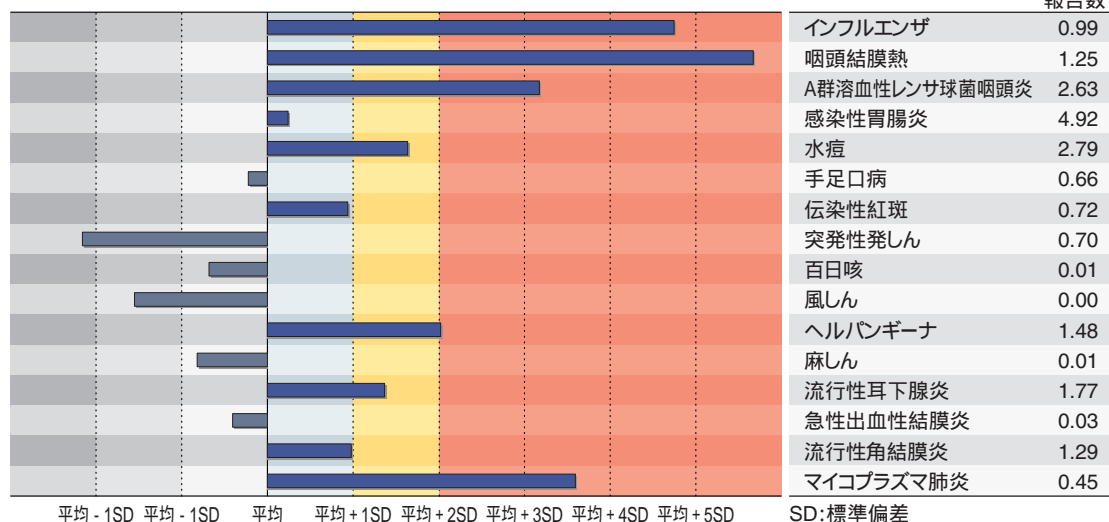
感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 1例(疑似症)
 - 細菌性赤痢 7例(感染地域: 国内(都道府県不明)1例、カンボジア2例、エジプト2例、マレーシア1例、カンボジア/ベトナム1例)
 - 腸チフス 3例(感染地域: インド1例、ネパール/バングラデシュ1例、タイ1例)
 - パラチフス 1例(感染地域: 愛知県)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 76例(うち有症者50例、HUSなし)
 - 感染地域: 国内75例、ポリビア1例
 - 国内の多い感染地: 大阪府(9例)、熊本県(9例)、栃木県(4例)、神奈川県(4例)、広島県(4例)
 - 年齢群: 10歳未満(30例)、10代(9例)、20代(16例)、30代(5例)、40代(4例)、50代(5例)、60代(4例)、70歳以上(3例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT α 34例、O26 VT1(19例)、O157 VT α 9例、O157 VT1(5例)、O111 VT1(3例)、O25 VT α 1例、O128 VT1・VT α 1例、その他/不明(4例)
 - 4類感染症: E型肝炎 1例(感染地域: インド、感染源: 不明)
 - A型肝炎 7例(感染地域: 北海道1例、東京都1例、石川県1例、愛知県1例、高知県1例、佐賀県1例、マダガスカル1例)
 - つつが虫病 19例(感染地域: 秋田県5例、新潟県5例、福島県3例、青森県2例、山形県2例、群馬県1例、長野県1例、うち1例死亡)
 - デング熱 2例(ともにデング熱、感染地域: フィリピン1例、タイ1例)
 - 日本紅斑熱 2例(感染地域: 広島県1例、鹿児島県1例)
 - ブルセラ症 1例(感染地域: イタリア)
 - マラリア 1例(卵形、感染地域: ガーナ/ナイジェリア/インドネシア)
 - レジオネラ症 8例(すべて肺炎型)
 - 年齢群: 50代1例、60代2例、70代5例
 - 感染地域: 栃木県1例、富山県1例、石川県1例、兵庫県1例、福岡県1例、佐賀県1例、国内(不明)1例、中国1例
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 6例(すべて腸管アメーバ症)
 - 感染地域: 国内4例、フィリピン1例、ブラジル1例
 - 感染経路: 経口1例、性的接触(異性間か同性間かは不明)1例、不明4例
 - ウイルス性肝炎 4例
 - [すべてB型、感染経路: 性的接触(異性間)2例、不明2例]
 - 急性脳炎 1例(病原体不明、20代)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 2例(ともに孤発性プリオン病(古典型CJD))
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2例
 - (50代1例、80代1例、血清群: A群1例、不明1例)
 - 後天性免疫不全症候群 20例(無症候15例、AIDS 5例)
 - 感染経路: 性的接触17例(異性間7例、同性間9例、異性間/同性間1例)、不明3例
 - 感染地域: 国内17例、国内/韓国1例、国内/タイ1例、国内/ロシア1例
 - ジアルジア症 1例(感染地域: インド)
 - 梅毒 5例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候2例)
 - 破傷風 1例(60代)
- (補)他に報告遅れとして、A型肝炎7例(感染地域: 新潟県、全例とも、第19週および20週に報告された4例とともに、寿司店に関連した集団発生)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(40代、血清群: A群)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第22週) / 過去5年間の同時期との比較



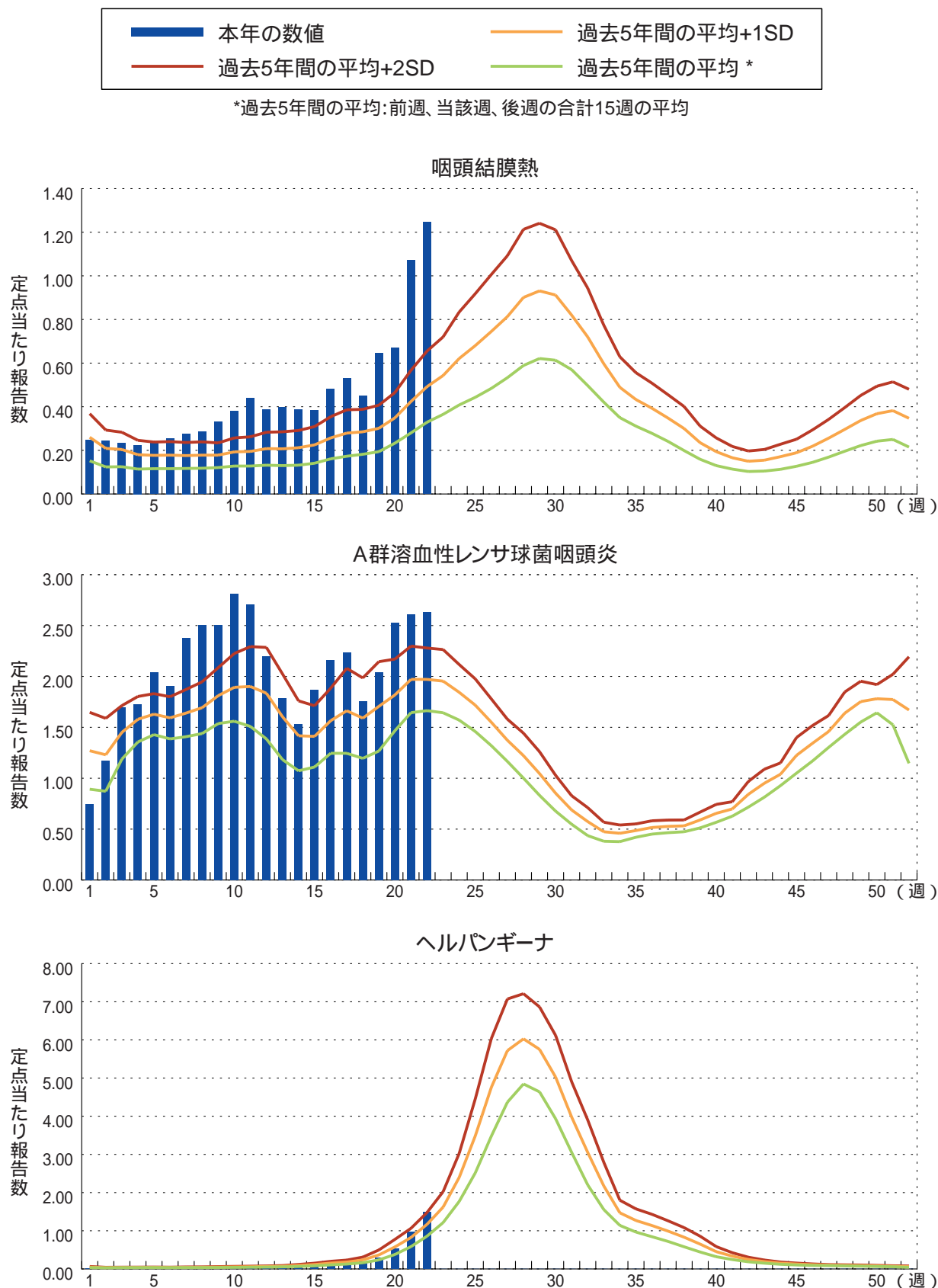
当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ : 定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(12.6)、北海道(4.0)、岩手県(3.7)、秋田県(3.0)が多い。

小児科定点報告疾患 : RSウイルス感染症は100例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第19週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では福井県(3.1)、香川県(2.7)、鹿児島県(2.1)、埼玉県(2.1)、愛媛県(2.0)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は微増し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では富山県(4.8)、新潟県(4.5)、北海道(3.8)、福井県(3.8)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福井県(11.6)、山口県(8.3)、大分県(7.8)、宮崎県(7.8)が多い。水痘の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(5.2)、佐賀県(5.0)、長野県(4.7)、愛媛県(4.4)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第19週以降、増加が続いている。都道府県別では岐阜県(3.9)、香川県(3.1)、愛知県(2.8)、福井県(2.3)が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第19週以降、増加が続いている。都道府県別では島根県(1.7)、静岡県(1.4)、鳥取県(1.4)、山形県(1.4)が多い。百日咳の定点当たり報告数は微減した。都道府県別では栃木県(0.11)、山形県(0.07)、徳島県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(0.05)、栃木県(0.04)、岡山県(0.04)、鹿児島県(0.04)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第10週以降、増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛媛県(4.0)、埼玉県(3.4)、熊本県(3.3)、佐賀県(3.0)、山口県(3.0)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では千葉県(0.05)、広島県(0.04)、秋田県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鹿児島県(6.0)、長野県(3.8)、宮崎県(3.6)、山梨県(3.4)が多い。

基幹定点報告疾患 : マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は横ばいであるが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県(2.6)、大阪府(2.6)、青森県(1.8)、群馬県(1.6)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2006年第1～22週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*)を原因菌とする感染症であり、温帯地域では普遍的にみられる疾患である。感染後1～4日の潜伏期間を経て突然の発熱、咽頭痛、全身倦怠感によって発症し、時に皮疹を伴うことがある。また、合併症としてリウマチ熱や急性糸球体腎炎などを起こすことがある。通常、発熱は3～5日で下がり、主症状は1週間以内に消失するが、合併症予防のためにも有効な抗菌薬(ペニシリン系薬が第一選択であるが、その他、セフェム系薬やマクロライド系薬等も使用される)の内服を10日間程度継続する必要がある。

例年、冬季から夏季にかけて報告数の増加がみられている。年別では、2000年以降では2004年に増加がみられ、2005年はそれよりやや減少した(図1)。2006年(第22週での累積報告数136,449)ではこれまでのところ、2004年(第22週での累積報告数112,487)の報告数を上回っている(図2、図3)。年齢別では、4～5歳31.9%、6～7歳24.6%、2～3歳14.6%の順であり(図4)、これまでと同様、7歳以下が全体の75%前後を占めている(図5)。

第22週の定点当たり報告数を都道府県別にみると、富山県(4.8)、新潟県(4.5)、北海道(3.8)、福井県(3.8)、鳥取県(3.7)、茨城県(3.6)、埼玉県(3.6)の順となっている。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は夏季に入って報告数が多くなるので、その発生動向には今後とも引き続き注意が必要である。

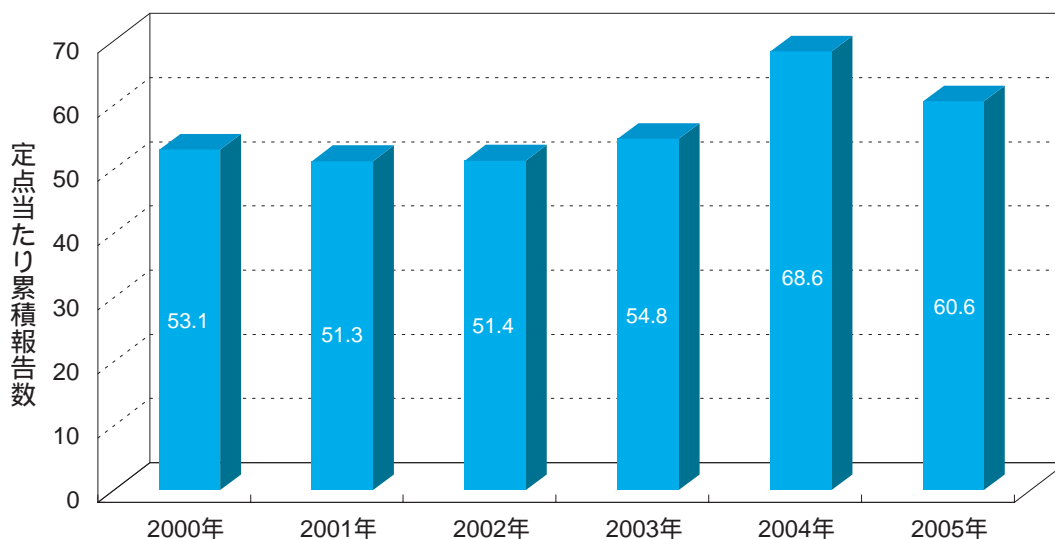


図1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別発生状況

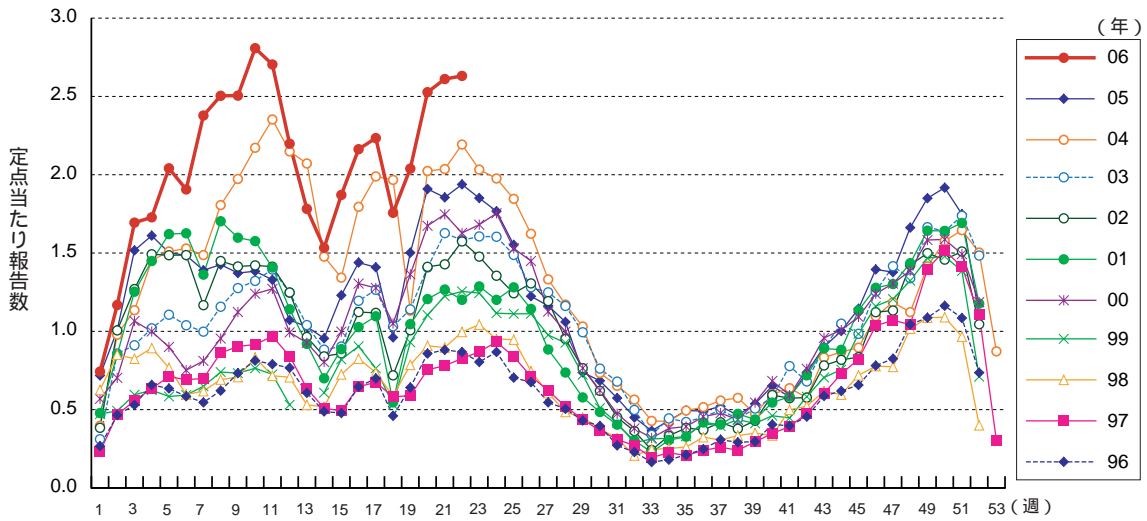


図2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況(1996年 ~ 2006年第22週)

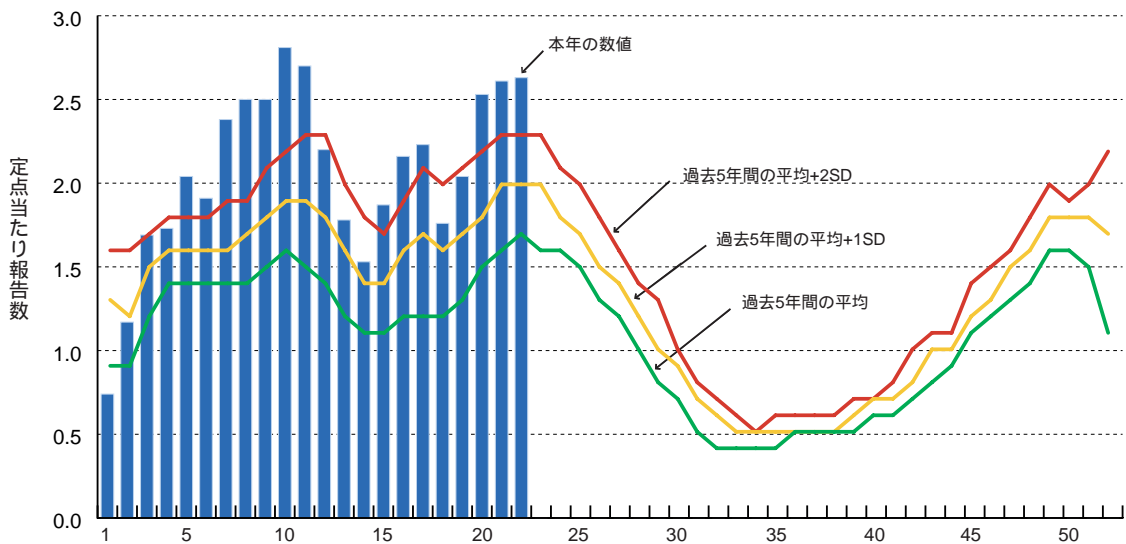


図3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年別・週別発生状況
(2006年の値を棒グラフで、過去5年間の平均およびその+1SD、+2SDを折れ線グラフで示した)

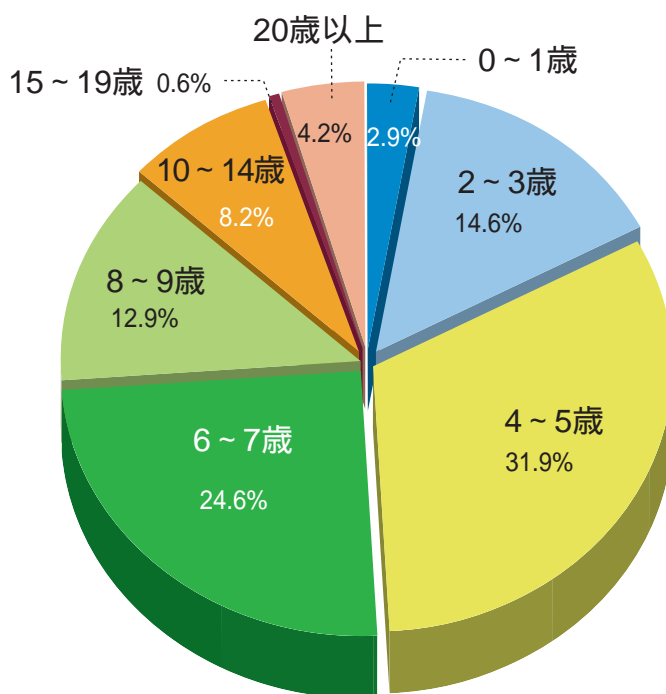


図4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告症例の年齢群別割合(2006年第1 ~ 22週)

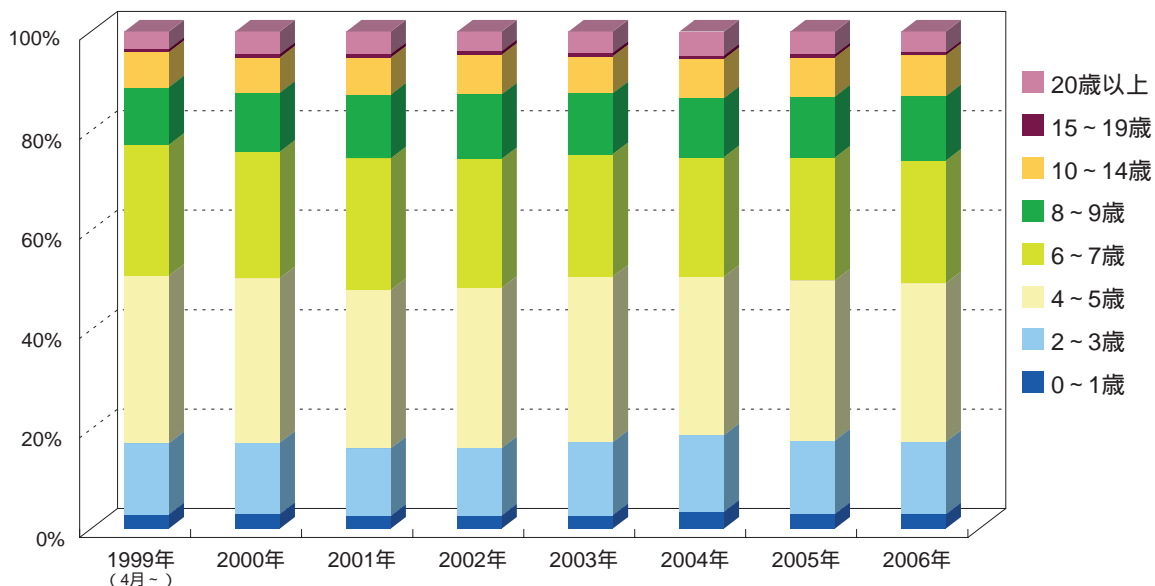


図5. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告症例の年齢群別割合(1999年4月 ~ 2005年)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

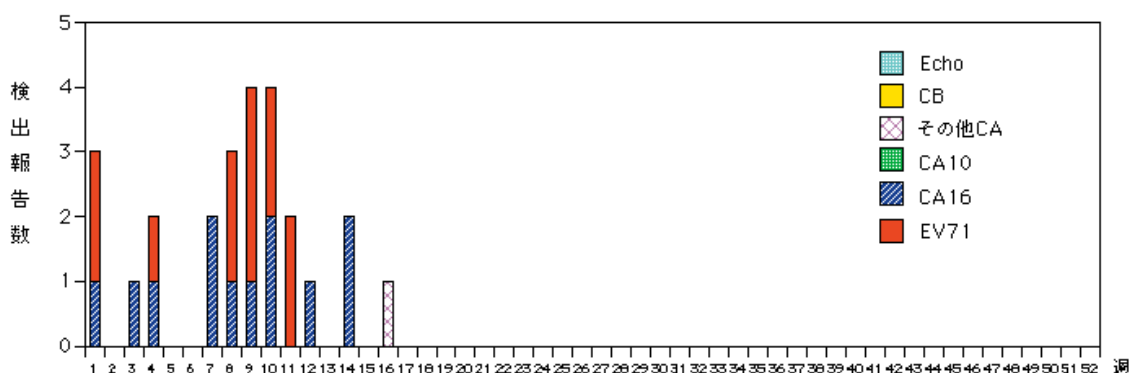
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2006年6月9日現在報告分)

手足口病患者から検出されているウイルス 2006年

2006年は第1～14週にエンテロウイルス71型(EV71)、コクサッキーウイルスA(CA)16型各12件、第16週にCA4型1件の検出が報告されている。EV71は愛知県8件(本号12ページ「速報」参照)をはじめ、宮城県3件(IDWR週報2006年第16号「速報」参照)、三重県1件が報告されている。CA16は愛知県3件、兵庫県、島根県各2件、福島県、石川県、長野県、大阪府、広島県各1件が報告されている。

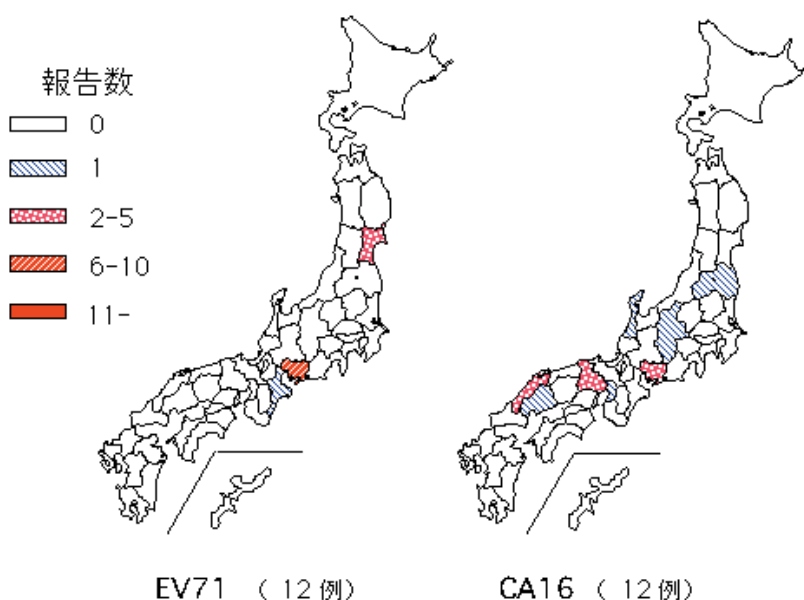
週別手足口病患者からのウイルス分離・検出報告数、2006年(病原微生物検出情報:2006年6月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



都道府県別手足口病患者からのエンテロウイルス71型&コクサッキーウイルスA16型分離・検出報告状況、2006年 (病原微生物検出情報:2006年6月9日現在報告数)



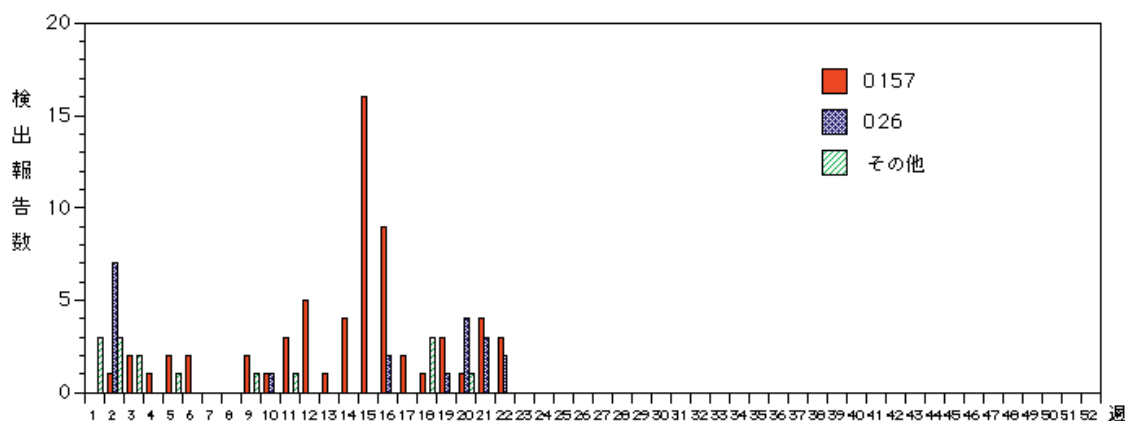
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2006年

2006年の検出総数は98件で、O157が63件、O26が20件、その他の血清型が15件報告されている。第14～15週に徳島県から飲食店での集団発生事例が報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2006年 (病原微生物検出情報：2006年6月9日現在報告数)



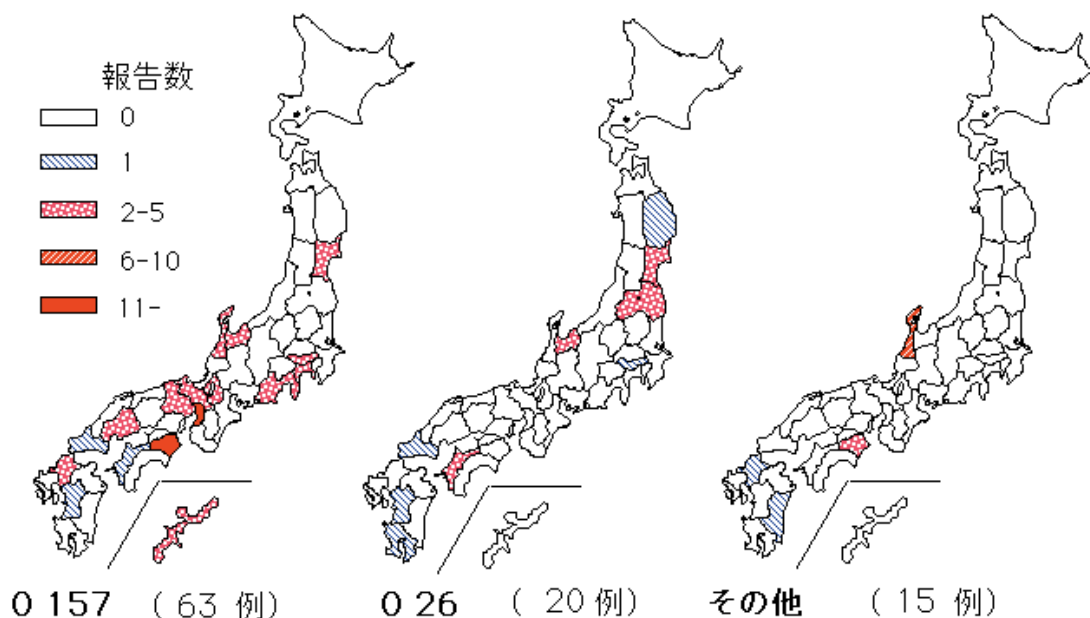
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2006年

(病原微生物検出情報：2006年6月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

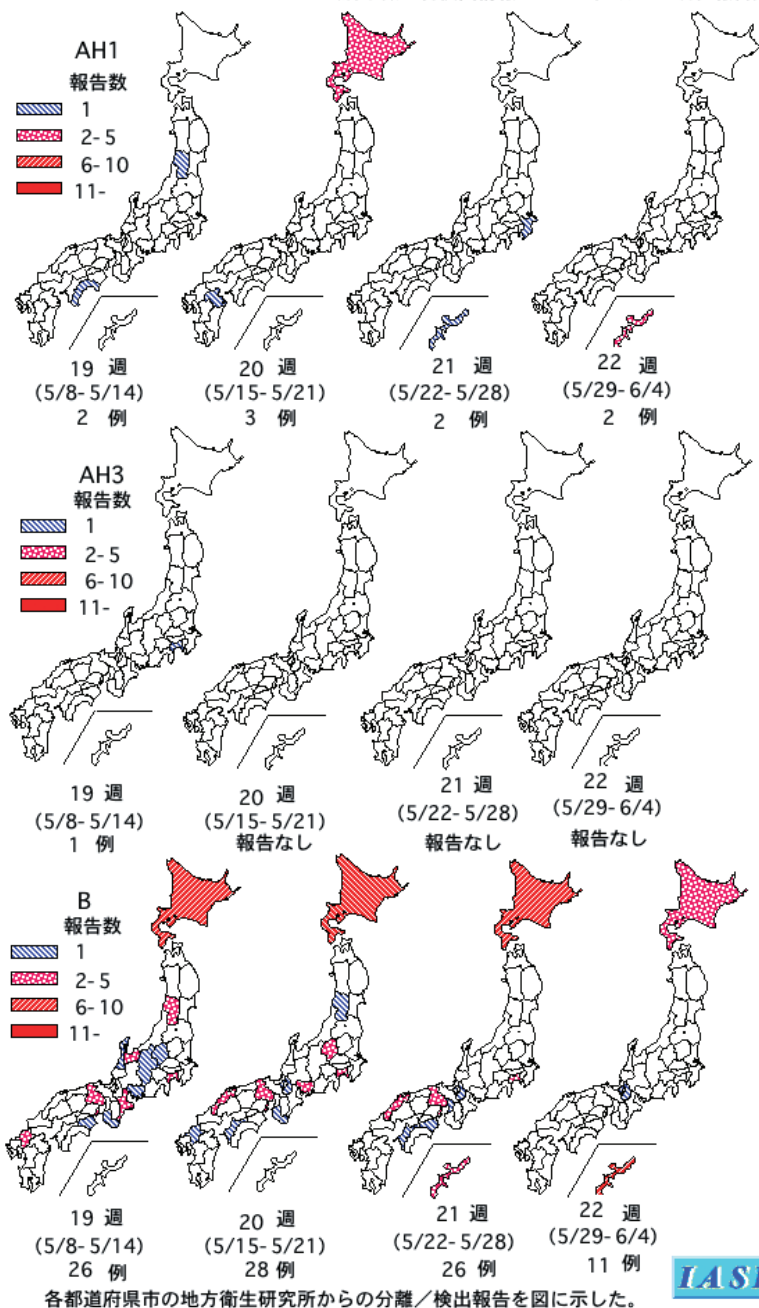
インフルエンザウイルス 2005/06シーズン

今シーズンはAH3型が主流となったが、第9～15週はAH1型がAH3型、B型の報告を上回り、第16週以降はB型が増加してAH1型、AH3型を上回っている。

B型は第16週以降に小中学校での集団発生も報告されている。第21～22週に北海道12件、沖縄県11件、兵庫県4件、神奈川県3件、滋賀県、島根県各2件、大阪府、徳島県、愛媛県各1件が報告されている。

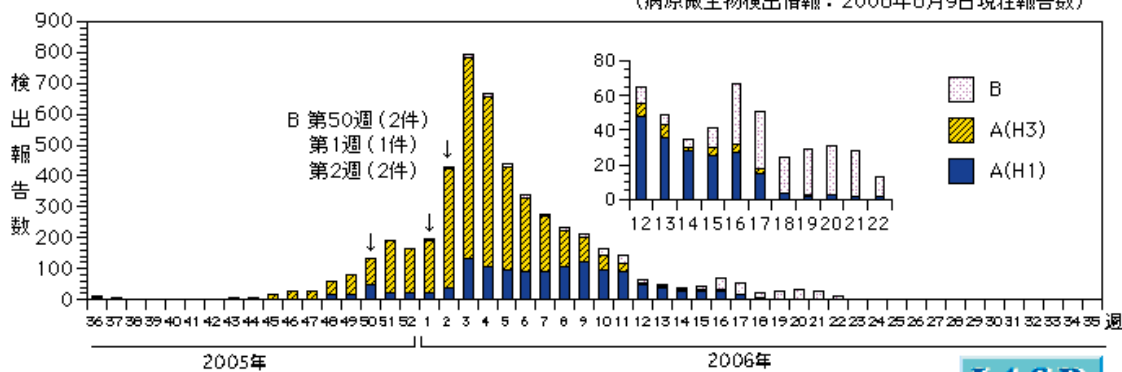
AH3型は第19週に神奈川県から1件、AH1型は第21～22週に沖縄県から3件、千葉県から1件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2005/06シーズン第19週～第22週
(病原微生物検出情報：2006年6月9日現在報告数)



週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2005/06シーズン

(病原微生物検出情報：2006年6月9日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



エンテロウイルス71型(EV71)の検出状況 - 愛知県

愛知県(名古屋市を除く)では、2006年の手足口病患者報告数が第12週から増加傾向にあり、第20週の定点当たりの報告数は1.24人と前週比1.4倍となっている。当所に搬入された2006年1～4月(発症月)の手足口病患者17名から、EV71が10株(うち3株は2006年4月)、コクサッキーウイルスA16型(CA16)が3株分離されている。検体の多くは本県尾張部の患者からで、他には上気道炎1名、不明発疹症1名の咽頭ぬぐい液、アフタ性口内炎1名の糞便からEV71が計3株分離されている。EV71が分離された患者13名の年齢層は4カ月～6歳で、3歳以下が11名(85%)であった。

Vero細胞、RD-18S細胞より分離された上記16株について、国立感染症研究所分与のCA10、CA16、EV71抗体を用いてウイルスを同定した。EV71分離株は、13株すべて標準株BrCr抗血清で中和可能であった。また、培養上清を用いてRT-PCR法にてエンテロウイルスVP1領域の遺伝子解析を行い、過去のEV71分離株と比較した。その結果、今期のEV71分離株は同源性が97.6～100%であり、独立したクラスターを形成するものの、前回本県内で大流行をおこした2000年の分離株に最も近かった。

本県では2000年に手足口病患者70名から24株、無菌性髄膜炎患者143名から1株、2003年にも手足口病患者70名から20株、無菌性髄膜炎患者107名から7株のEV71が分離され、流行が確認されている。また2004年には、手足口病患者66名から2株分離されたが、同時期にCA16が39株分離されており、EV71とCA16が同時に流行していた。2005年は手足口病患者から初夏にコクサッキーウイルスA6型、夏季にCA16が分離され、EV71の分離は秋季以降であった。

このように本県においてはEV71の流行が繰り返されているため、2005年に採血された県内在住者200名の血清を用いて、EV71に対する抗体保有状況を調査した。その結果、2歳未満の抗体保有率は0%で、2～3歳、4～9歳でも10～20%であったが、10歳以上の年齢層では、50～65%の抗体保有率であった。10歳未満の抗体保有率が低いことから、今後も引き続き、EV71による手足口病、無菌性髄膜炎等の流行に注意が必要である。また、EV71は夏季に限らず検出される傾向が続いており、1年を通じた迅速な情報提供が必要であると思われた。

愛知県衛生研究所微生物部

伊藤 雅 長谷川晶子 山下照夫 小林慎一 秦 眞美 田中正大 皆川洋子

(IASR 2006年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2006年6月6日 - 更新17

インドネシア保健当局とWHOは過去4日間、H5N1型ウイルス感染確定患者の看護に当たった看護師4名でのインフルエンザ様症例を監視してきた。検査の結果、看護師4名全員がH5N1型ウイルス感染ではないと診断確定された。

看護師のうち2名は、5月22日にWest Java州のBandungで入院し、翌日死亡した10歳の少女と18歳になるその兄の2人を看護した。2人の看護師に関する検査結果は陰性であった。看護師の1人は、季節性のインフルエンザA(H1N1)ウイルスに感染していることが示された。このウイルス株は現在、インドネシア全域で広範囲に感染循環している。2例目の看護師は軽症で、一過性の症状を呈したが、念のため緊急に検査が行われた。検査結果は同様に陰性であった。

残りの看護師2名は、North Sumatra州Medanにある病院勤務であり、Karo地区Kubu Simbelang村在住の大家族で発生した、H5N1型ウイルス感染確定患者(複数)を看護した。看護師の1人は34歳女性で、軽い症状を呈し、検査ではH5N1型株感染陰性であった。2例目の看護師は42歳女性で、6月1日にインフルエンザ様症状を発症した。6月6日に判明した検査結果は、H5N1型感染陰性であった。

上記の看護師のインフルエンザ様症状発症に関する調査でみられた迅速性と徹底ぶりから、インドネシア保健当局の強い懸念が読みとれる。看護師4名全員が検査で陰性となったことで、現時点では、H5N1型鳥インフルエンザウイルスがヒトの間では効率的、あるいは持続的に感染拡大していないことが確認された。

WHO/EPR 2006年6月6日 - 更新18

インドネシア保健省は、国内で49例目のH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染患者を確定した。

患者は、West Java州Tasikmalaya地区出身の15歳少年である。5月24日に発症し、5月26日に入院、5月30日に死亡した。州保健当局によって行われた調査の結果、患児の発症1週間前に自宅において、発病したり瀕死のニワトリとの接触歴があったことが判明した。家族および濃厚接触者の経過観察からは、インフルエンザ様症状を呈する症例は確認されなかった。

これまでにインドネシア国内で診断が確定した患者49名のうち、37名が死亡している。

H5N1型鳥インフルエンザウイルスは、インドネシアの大部分で家禽に感染が定着していると考えられる。もしもこの状況に対して、迅速に包括的に対処がなされなければ、ヒトでの散発的な患者発生が続くであろう。

新たな確定患者は、家禽の死亡によりハイリスク状況が明らかとなっている中で感染曝露が発生した1例である。動物での鳥インフルエンザ制圧がより良く行われるまで、WHOと保健省当局は、本感染症、感染のリスク因子、および避けるべき行為についての一般人の知識向上が緊急に必要であると考えている。

アンゴラでのコレラ流行

WHO/EPR 2006年6月6日 - 更新3

2006年5月31日時点で、アンゴラ政府は、コレラ患者総計41,475名と死亡者1,576名(致死率3.8%)を報告した。

全18州のうち、13州で患者が発生している。患者のうち51%はルアンダ州で発生し、19%がベンゲラ州で発生した。致死率は州ごとに分析され、1 ~ 30%の範囲である。最近の患者発生は大部分の州で減少傾向であるが、1日当たり250 ~ 300名の患者が報告されている。累積発病率(患者数/地域人口×100)によれば、最も感染が激しい州は、クワンザルテ州(0.94%)、ベンゴ州(0.92%)、マランジ州(0.78%)、ルアンダ州(0.44%)、およびベンゲラ州(0.27%)である。

WHOは対策調整を支援し、飲料水、衛生設備を供給し、サーベイランスを強化するため、保健省及び他のパートナーと共同で活動を続けている。

ナミビアでのポリオ流行

WHO/EPR 2006年6月7日

ナミビアのWindhoek地区を中心に、突然の麻痺を発症したポリオ疑い患者34名につき、調査が行われている。そのうち3名は、野生ポリオウイルス感染と診断確定された。最初の患者と考えられているのは、5月8日に麻痺を発症した39歳男性で、後に野生ポリオウイルス1型感染が確定された。疑い患者の大部分が20歳以上の成人であり、7名が死亡した。

同国の保健当局は、今回の野生ポリオウイルス感染患者発生への対応を計画している。ナミビアは1996年以降、ポリオ患者の発生が報告されていなかった。今回の集団発生は、患者の大部分が成人という点で異常であるが、その調査が現在進行中である。遺伝子解析の結果、病因ウイルスは、アンゴラで感染循環しているインド起源のウイルス株の持ち込みとして矛盾がないことが確認された。2001年以降ポリオ患者報告のなかったアンゴラでは、昨年インドから持ち込まれたポリオウイルスによって感染が再発生した。

ナミビア政府は、単価経口ポリオウイルスワクチン1型(mOPV1)を用いた、3回の全国ワクチン接種日(NIDs)から成る集団ワクチン接種対策を計画している。第1回目のNIDは早ければ6月21日に実施される予定で、通常5歳未満の小児ではなく、同国の全人口(200万人)を対象としている。今後新たに発生する患者の年齢分布により、その後の2回のNIDにおける対象年齢群が決定される予定である。国際チームが同国当局を支援している。

ナミビア政府は1990年に、定期ポリオワクチン接種を開始した。今回の大規模な成人でのポリオ患者集団発生の原因は確定されていないが、発病した個人は、小児期にワクチン接種を受けていなかった可能性が高い。ナミビア国内での現在の定期ポリオワクチン接種率は、地域により60%から80%とばらつきがある。



感染症の話

野兔病

野兔病(tularemia)は野兔病菌(*Francisella tularensis*)による急性熱性疾患で、代表的な動物由来感染症の一つである。自然界において本菌はマダニ類などの吸血性節足動物を介して、主にノウサギや齧歯類などの野生動物の間で維持されており、これらの感染動物から直接あるいは間接的にヒトが感染する。近年、わが国において野兔病は非常に稀な感染症であるが、本菌は今日でも国内の野生動物間で維持されていると考えられること、また、ヒトが海外の発生地で感染したり、本菌が生物テロに使用される可能性のある病原体としてリストアップされるなど、留意すべき感染症の一つである。

疫学

発生状況：野兔病は北米、北アジアからヨーロッパに至る、ほぼ北緯30度以北の北半球に広く発生している(図1)。米国やスウェーデンなどの海外の汚染地域では毎年散発的に起っており、ときに流行を示すこともある。日本では1924年の初発例以降、1994年までの間に合計1,372例の患者が報告され、東北地方全域と関東地方の一部が本病の多発地である(図2)。発生の季節性は、吸血性節足動物の活動期(4～6月)と狩猟時期(11～1月)の2つのピークを示す。第二次世界大戦前は年平均13.8件であったが、戦後は1955年まで年間50～80例と急増した。その後減少傾向を示し、1999年の千葉県での1例以降は報告されていない。戦後の患者数の急増は、食糧難のためにノウサギを捕獲・解体する機会が増加し、また1964年以降は経済の高度成長に伴い生活様式が変化し、ノウサギとの接触機会が減少したためと考えられている。



図1. 野兔病の発生地域(GIDEON 2002より)

感染源動物：野兔病菌の自然保有例は世界的に哺乳類の190種、鳥類23種、両棲類3種、マダニなどの無脊椎動物88種で報告されている。日本におけるヒトへの感染の90%以上は、ノウサギとの接触によるものである。他に感染源や菌が分離された動物としてネコ、リス、ツキノワグマ、ヒミズ、ヤマドリ、カラス、キジ、一部のマダニ類などがある。

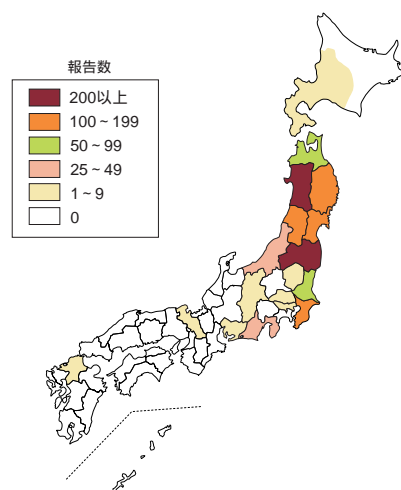


図2. 日本での野兔病の発生状況

感染様式：大部分の患者は保菌動物の剥皮作業や肉の調理の際に、菌を含んだ血液や臓器に直接接触することにより感染している。さらに、マダニ類やアブ類等の吸血性節足動物による刺咬からの感染例も報告されている。ペットに付着したマダニ除去の際に、虫体を潰して体液が目に入り込んだり、指が汚染されることによるものもある。海外では感染動物との直接接触や吸血性節足動物の刺咬以外に、保菌野生齧歯類の排泄物や死体によって汚染された飲用水や食物による経口感染、また、死骸が紛れ込んだ干し草等の粉塵の吸入による呼吸器感染も報告されている。ヒトからヒトへの感染はないとされているが、患者の潰瘍部からの浸出物などもヒトへの感染源となりうるので、注意が必要である。

病原体

野兔病菌はグラム陰性の小短桿菌(0.2 × 0.3 ~ 0.7µm)で、多形性を示す。好気性菌で、宿主のマクロファージ内で増殖する細胞内寄生細菌である。野兔病菌は水や泥、死体中などで数週間は生存可能とされているが、熱に対しては弱く、55 10分程度で容易に死滅する。現在まで、特定の病原性因子は解明されていない。血清型は1種で、菌株の生化学的性状および病原性などから、本菌種は3亜種に分類されるが(表1)、1)、2)がほとんどの野兔病の起因亜種である。

1) subsp. *tularensis*は主に北米に分布し、10個以下の菌で感染が成立する強毒型である。有効な抗菌薬での治療がなされない場合、致死率は5%である。Type Aあるいはsubsp. *nearctica*と呼ばれていた。

2) subsp. *holarctica*はユーラシア大陸から北米にかけて広い範囲に分布し、日本に分布する野兔病菌もこの亜種である。病原性は弱く、この亜種の感染による死亡例は極めて稀である。Type Bあるいはsubsp. *palaeartica*と呼ばれていた。

3) subsp. *mediasiatica*は中央アジアから旧ソ連の一部地域に分布し、病原性は強くない。

さらに北米に分布する別種*Francisella novicida*を、その遺伝子配列の相同性から亜種とするよう提唱されている。抗原性により上記3亜種とは区別できる。

表1. *Francisella* 属の種、亜種、biovarの性状と分布

性状	<i>Francisella tularensis</i>					<i>F. novicida</i>	<i>F. philomiragia</i>
	subsp. <i>tularensis</i>	subsp. <i>holarctica</i>			subsp. <i>mediasiatica</i>		
		Biovar I Ery ^s	Biovar II Ery ^r	Biovar <i>japonica</i>			
分解能							
グリセリン	+	-	-	+ ^W	+	+	-
シトルリン	+	-	-	-	+	+	不明
ショ糖	-	-	-	-	-	+	+
マルトース	+	+	+	+	+ ^W	-	+
エリスロマイシン感受性	+	+	-	+	+	+	+
家兔に対する病原性	強	弱	弱	弱	弱	弱	弱
主な分布	北米	欧州 北米 旧ソ連 日本	ユーラ シア	日本	中央 アジア	北米	北米 スイス

W : 分解するが弱い * : 致死性的皮下接種菌量が強病原性菌では1 ~ 10個、弱病原性菌では10⁸ ~ 10⁹個

臨床症状

野兔病はペストに類似した臨床症状を呈するが、感染初期においては特徴がなく、しばしば誤った診断がつけられる。野兔病は急性熱性疾患で、感染後3日目をピークとした1週間以内(稀に2週間~1カ月)の潜伏期間後に、突然の発熱(38~40℃)、悪寒・戦慄、頭痛、筋肉痛、関節痛などの感冒様の全身症状が認められる。その後弛緩熱となり、長く続く。野兔病菌の感染力は極めて強く、目などの粘膜部分や皮膚の細かい傷はもとより、健康な皮膚からも侵入できるのが特徴である。皮膚から侵入した野兔病菌はその部位で増殖し、侵入部位に関連した所属リンパ節の腫脹、膿瘍化、潰瘍または疼痛を引き起こす。病原菌の侵入部位によって様々な臨床的病型を示す(表2)。我が国では90%以上がリンパ節腫脹を伴う例で、60%がリンパ節型、20%が潰瘍リンパ節型である。一方、米国では潰瘍リンパ節型が多い。また、各病型の経過中、3週目頃に一過性に蕁麻疹様、多形浸出性紅斑などの多様な皮疹(野兔病疹)が現れることがある。

鑑別すべき類似疾患として、ツツガムシ病、日本紅斑熱、結核、ネコ引っ掻き病、ペスト、ブルセラ症などがある。

表2. 野兔病の臨床病型

リンパ節腫脹を伴うもの	
潰瘍リンパ節型	: 感染部位の潰瘍壊死、所属リンパ節の腫脹化膿潰瘍
リンパ節型	: 潰瘍を欠き、所属リンパ節の腫脹のみ
扁桃リンパ節型	: 口腔及び扁桃の潰瘍、下顎頸部リンパ節の腫脹
眼リンパ節型	: 羞明、流涙、眼瞼浮腫、小潰瘍を伴う結膜炎
鼻リンパ節型	: 鼻ジフテリア様痂皮、下顎頸部リンパ節の腫脹
リンパ節腫脹を伴わないもの	
チフス型	: 悪寒、戦慄を伴う発熱、頭痛、髄膜刺激症状
肺炎型	: 発熱、咳、胸痛、肺炎症状
胃型	: 急性腹症

実際の臨床例が日本細菌学会ホームページで紹介されている。

病原診断

診断には患者の臨床症状、汚染地域への立ち入り、野外での活動状況、動物や動物死骸との接触歴などの問診が重要である。最も確実な検査は患者からの病原体の分離・同定であるが、その他にゲノムDNAや菌体抗原の検出、および血清中の特異抗体検出などが実施される。病原体検査: 通常病原体の分離培養は、腫脹したリンパ節の膿汁を野兔病菌用培地に直接接種する方法と、マウス腹腔内に接種した後、発症または死亡後の血液、脾臓、肝臓を培地に接種する方法がある。本菌は通常検査室で用いられる培地ではほとんど増殖せず、適当な培地を用いても数日を要し、困難な場合も多い。野兔病菌はシステイン要求性であり、8%ヒツジ脱繊維血加ユーゴン寒天培地などが用いられている。雑菌の混入がある場合には、ペニシリン、ポリミキシンB、シクロヘキサミドなどを培地に添加する。患部や組織のスタンプ標本での直接あるいは間接蛍光抗体法などの免疫学的方法による、菌体抗原の検出も有用である。

近年、野兔病菌の16SリボソームRNA遺伝子、外膜蛋白質遺伝子(*fopA*)や17 kDaリポ蛋白質遺伝子(*tul4*)などを対象としたPCR法や、リアルタイムPCR法などの高感度なゲノムDNA検出法が開発され、検体からの直接検出や菌の同定に有効である。また、野兔病菌ゲノムの繰返し塩基配列領域などの解析で、分離株の型別ができるようになってきている。

血清学的検査：野兔病菌に対する血中抗体価は発病2週目頃から上昇し、4～6週目に最高値を示し、その後も長期間維持される。ホルマリン不活化菌体を抗原とした試験管凝集反応で、ペア血清で4倍以上の抗体価の上昇、あるいは単一血清で40倍以上を陽性とする。高感度で、使用する血清や抗原が少量ですむ微量凝集反応法(マイクロプレート法)先行されている。凝集反応ではブルセラ属菌との交差反応があるので、注意を要する。他の血清学的診断法としてELISA法、ウエスタンブロット法などが行われる。野兔病検査のためのキットや試薬等は、国内では販売されていない。

治療・予防

野兔病では抗菌薬を用いた治療が有効で、早期の治療開始が重要である。

全身治療：硫酸ストレプトマイシン1 g/日(またはゲンタマイシン40～60 mg/日)の筋注と同時に、テトラサイクリン1 g/日・分4(またはミノサイクリン200 mg/日・分2)の経口投与を2週間続ける。症状が残れば、テトラサイクリン系抗菌薬を半量にした内服をさらに1～2カ月間続ける。ペニシリン系、セファロスポリン系抗菌薬は無効である。

局所治療：膿瘍化したリンパ節に対しては、太めの注射針で3～4日ごとに穿刺排膿する。症例によってはストレプトマイシン0.1～0.2 gを1 mlの生理食塩水に溶解し、注入する。多くは2～3回で膿瘍は消退する。切開排膿は難治性瘻孔を作りやすいので、病巣の完全な搔爬が必要である。

予防：流行地においては死体を含め、野生ノウサギや齧歯類などとの接触は避け、またダニや昆虫の刺咬を防ぐこと(衣服、忌避剤など)、生水の飲用をしないなどの注意も必要である。検査室で野兔病を疑う検体を取り扱う際には、手袋等での防護が必要である。なお野兔病菌の培養は、バイオセーフティ・レベル3での取り扱いが必要である。旧ソ連では弱毒生ワクチン(RV株)が広く用いられた。米国では実験室のバイオハザード対策として、一部で弱毒生ワクチン(LVS株)が使用されているが、日本にはない。

感染症法における取り扱い

野兔病は四類感染症に定められており、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出る。

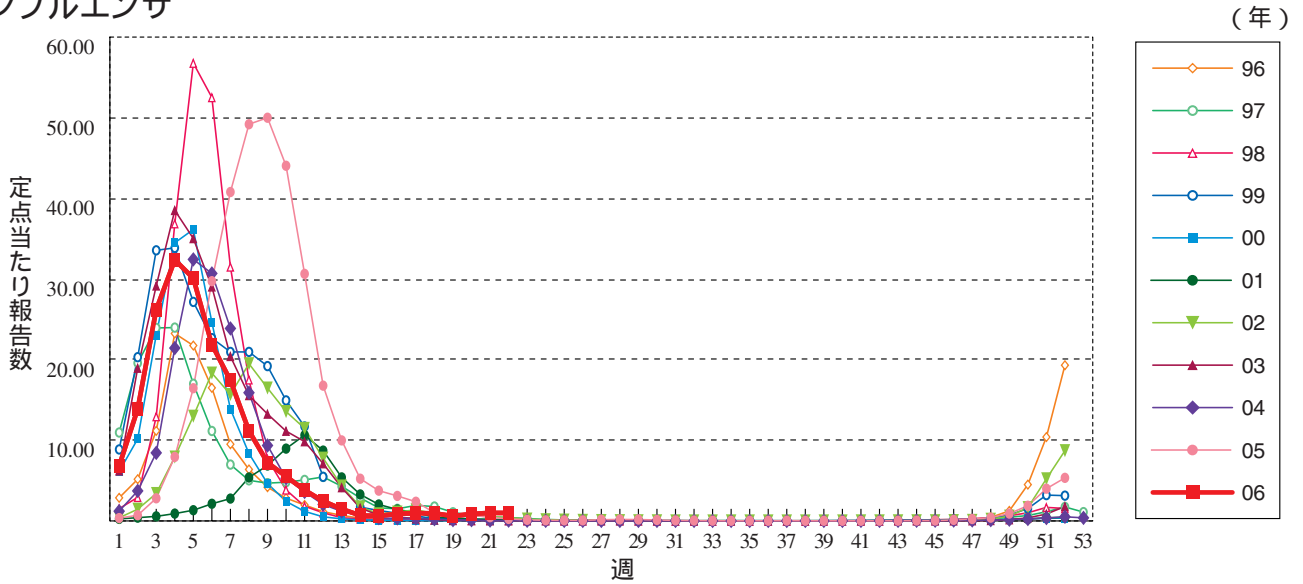
【参考文献】

- 1)大原義朗：野兔病．動物由来感染症その診断と対策、pp209-213、神山恒夫、山田章雄編、真興交易、東京、2003.
- 2)藤田博己：野兔病．モダンメディア．50: 99-103, 2004.
- 3)Mörner T & Addison E(2001): Tularemia *In* Infectious Diseases of Wild Mammals. (Williams E. S. & Barker I. K. eds.), 303-312, Iowa State University Press.
- 4)Ellis J, Oyston PCF, Green M, et al: Tularemia. Clin. Microbiol. Rev. 15:631-646, 2002.
- 5)Petersen JM & Schriefer ME :Tularemia:emergence/re-emergence. Vet. Res. 36: 455-467, 2005

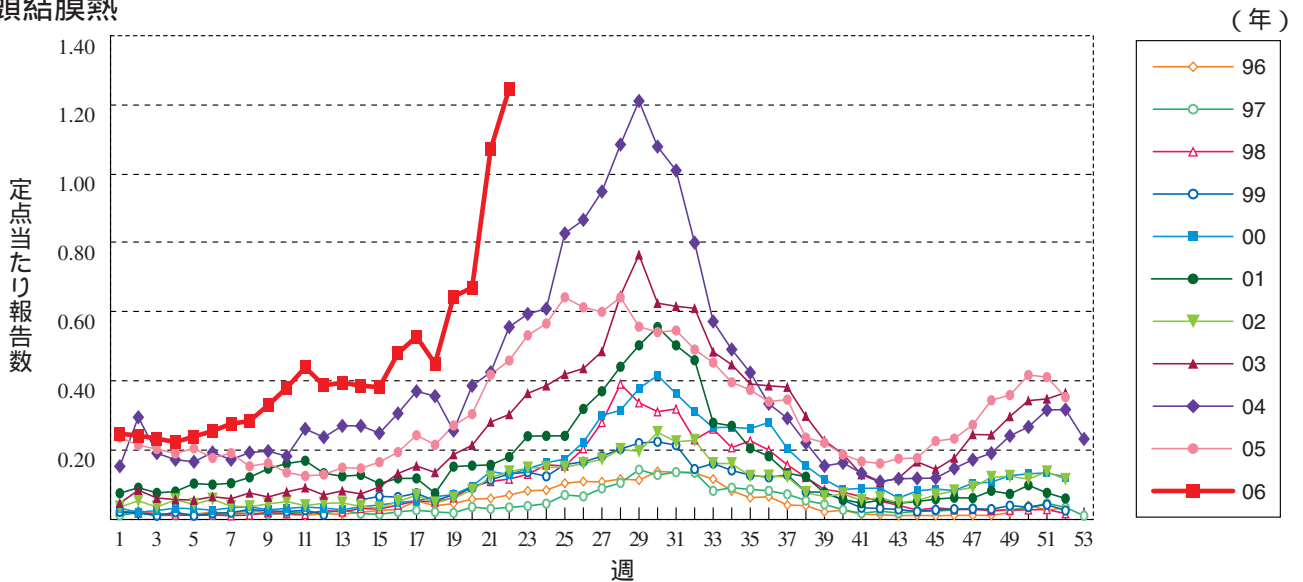
(国立感染症研究所獣医科学部 藤田 修 堀田明豊 棚林 清)

グラフ総覧(22週)

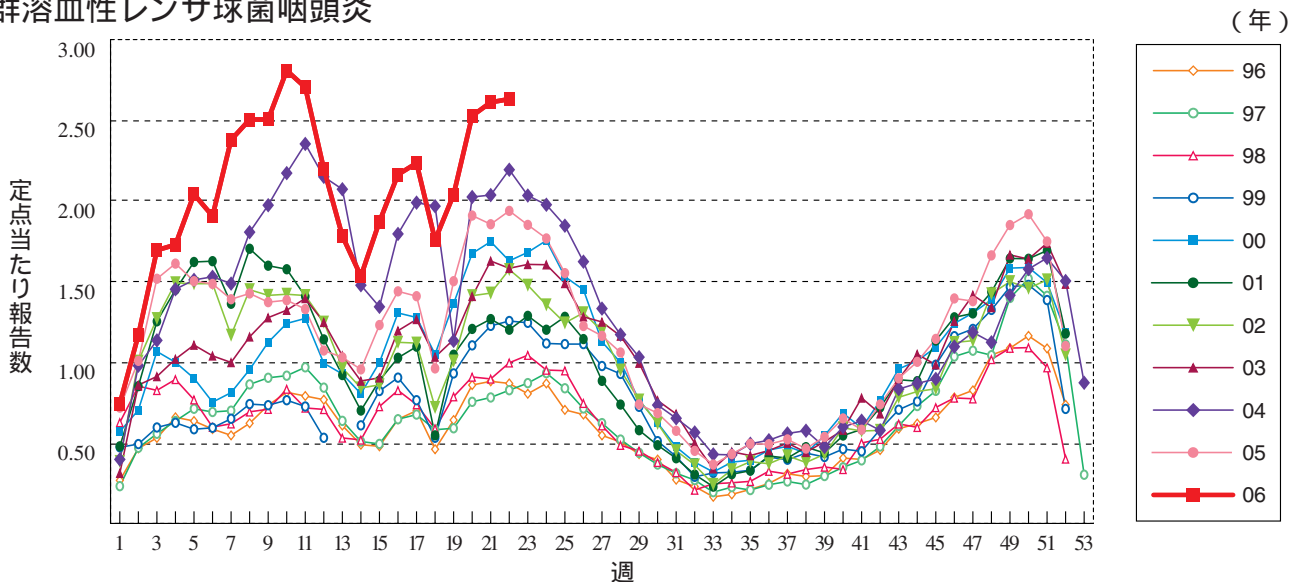
インフルエンザ



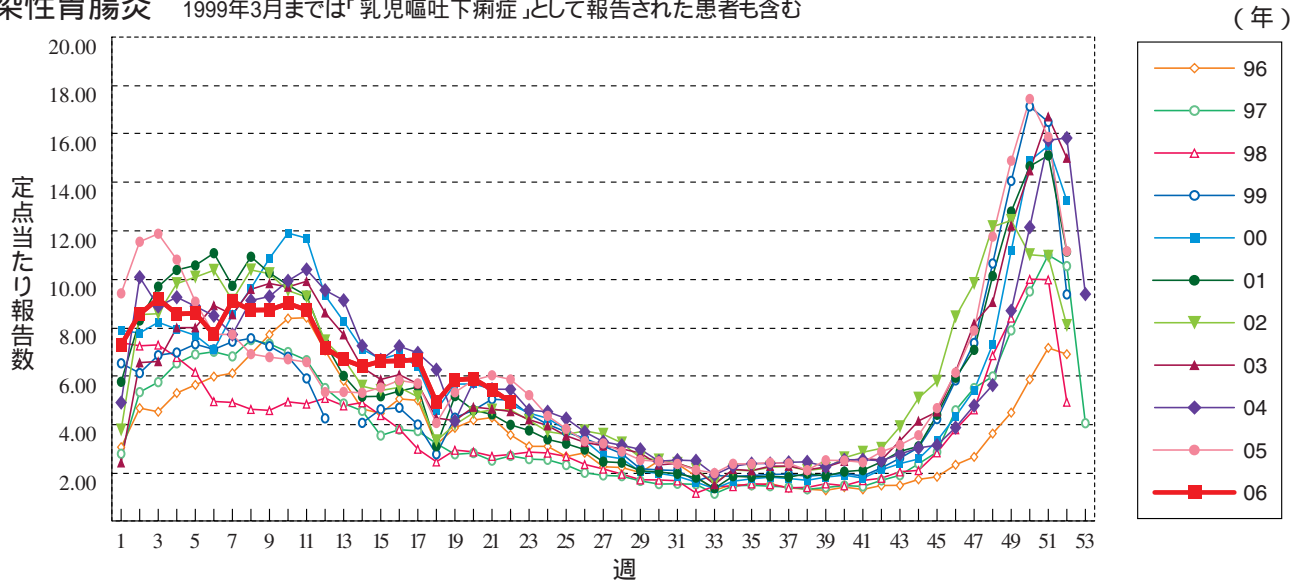
咽頭結膜熱



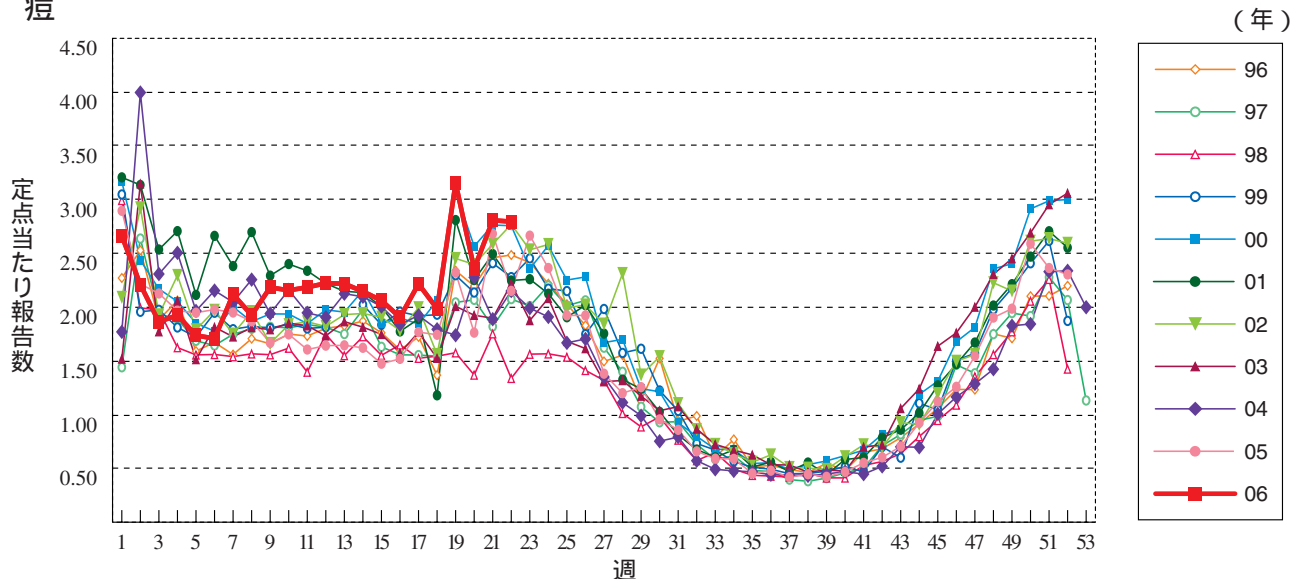
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



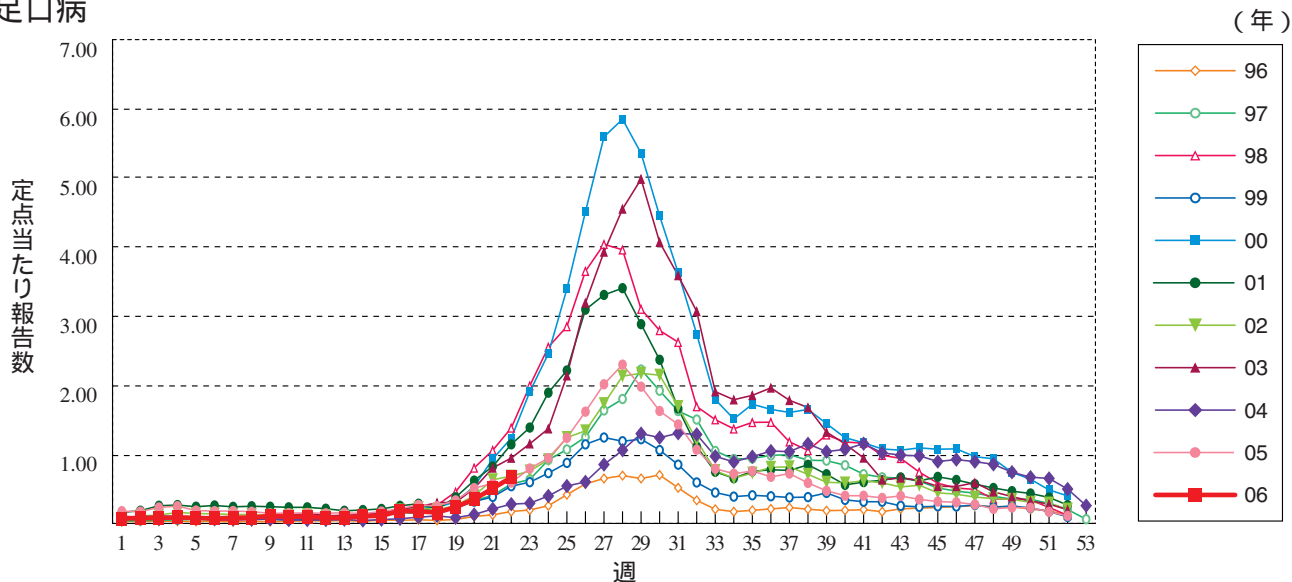
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



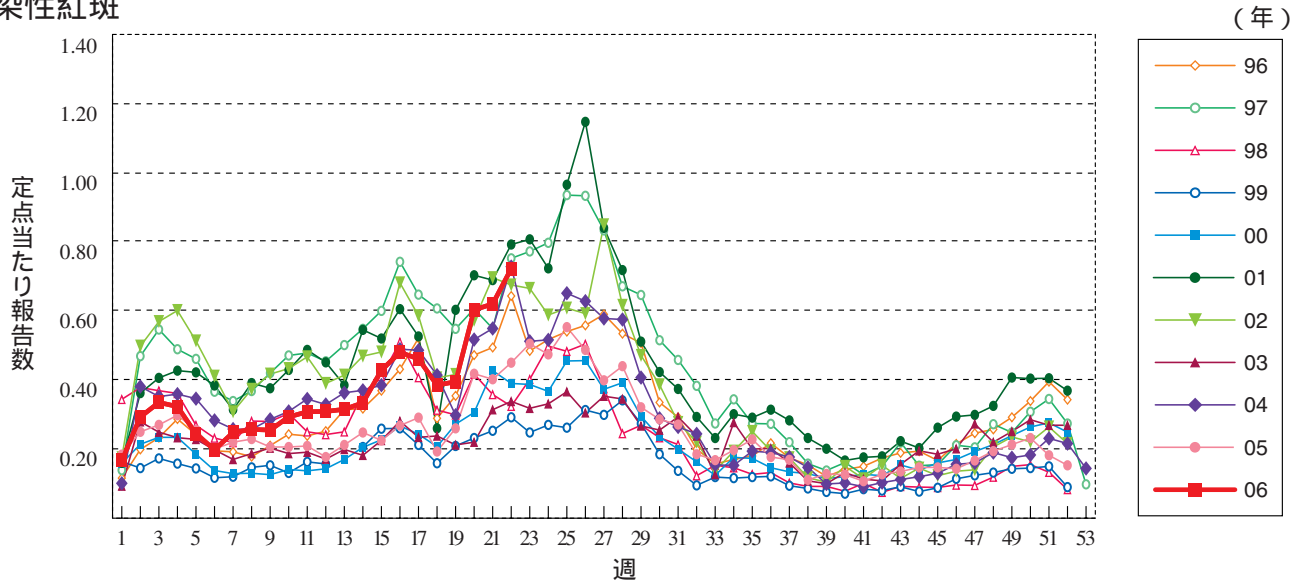
水痘



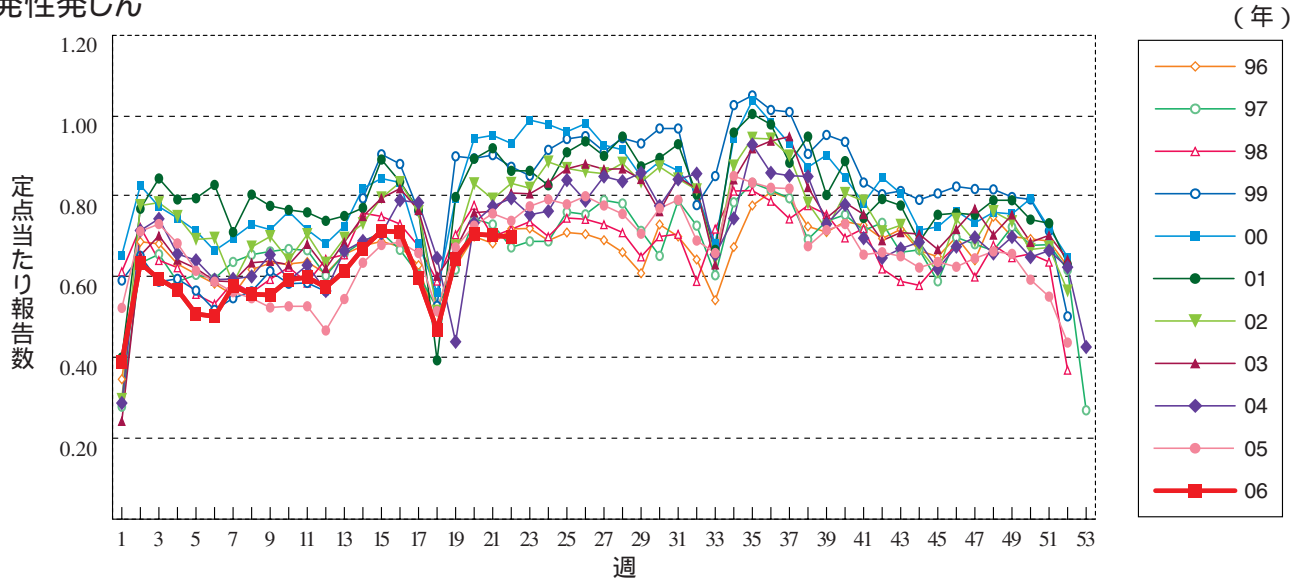
手足口病



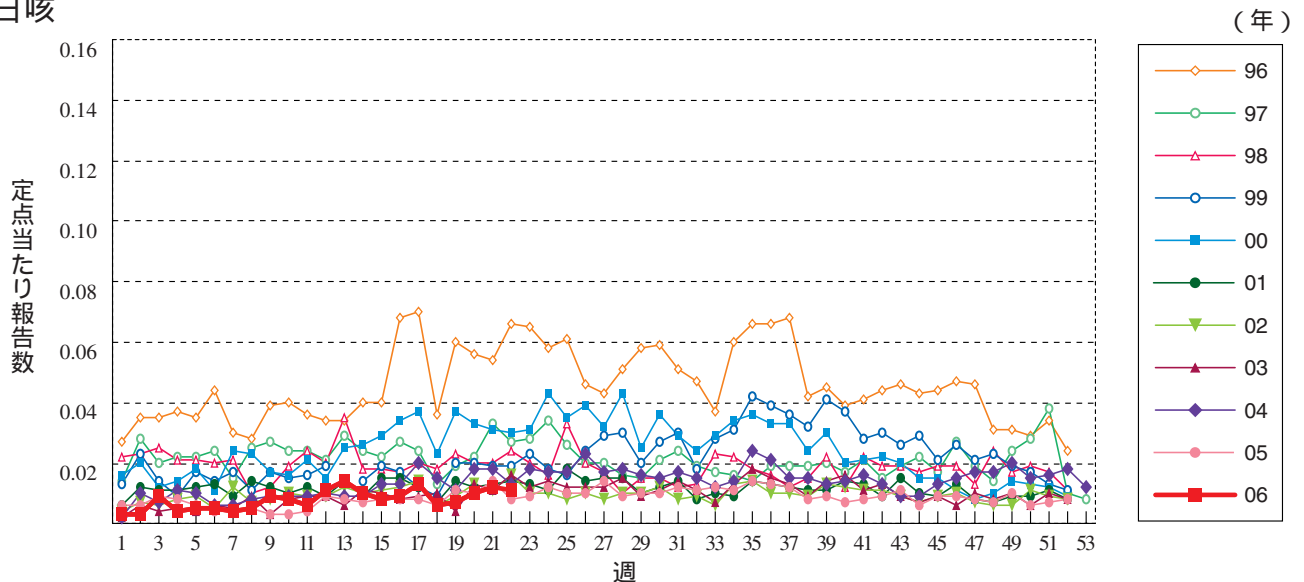
伝染性紅斑



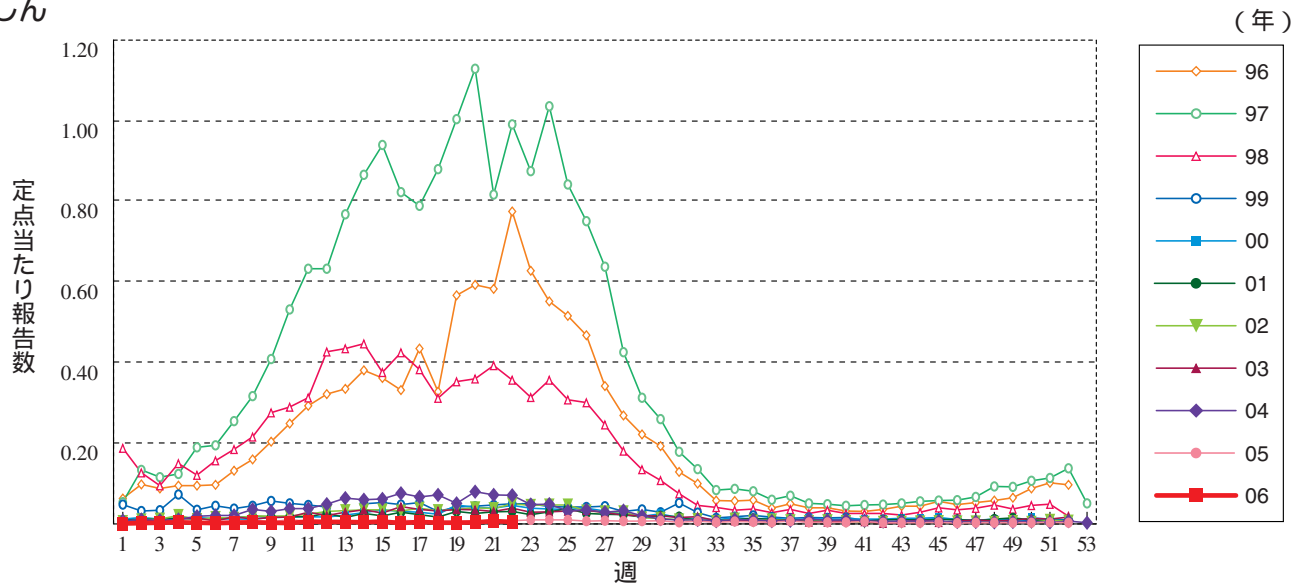
突発性発しん



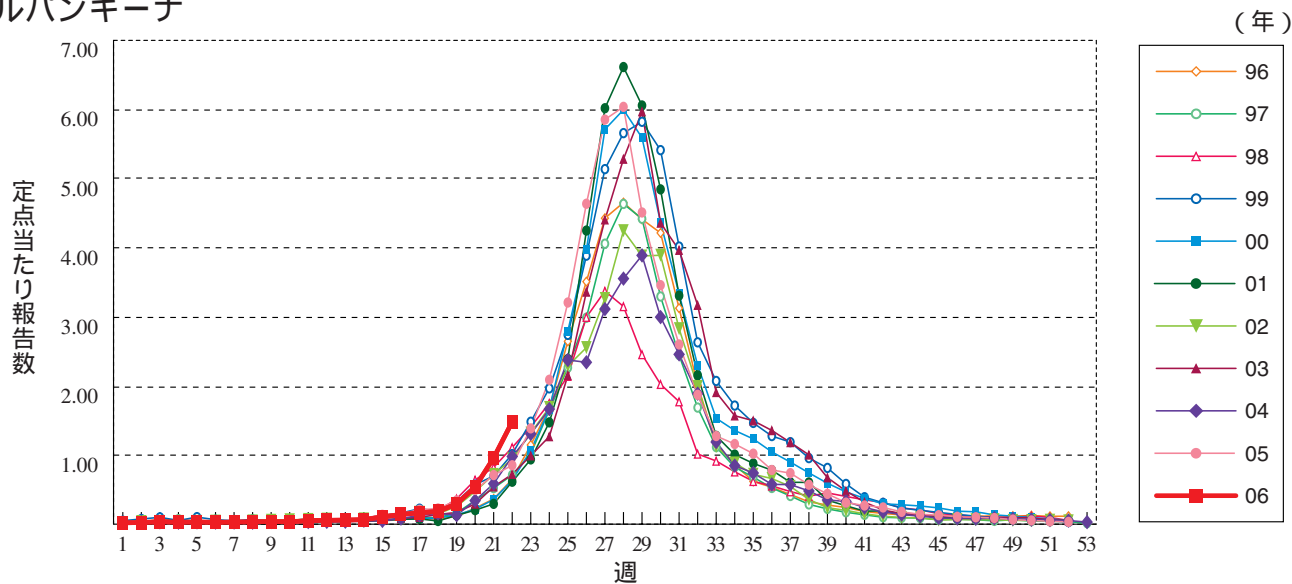
百日咳



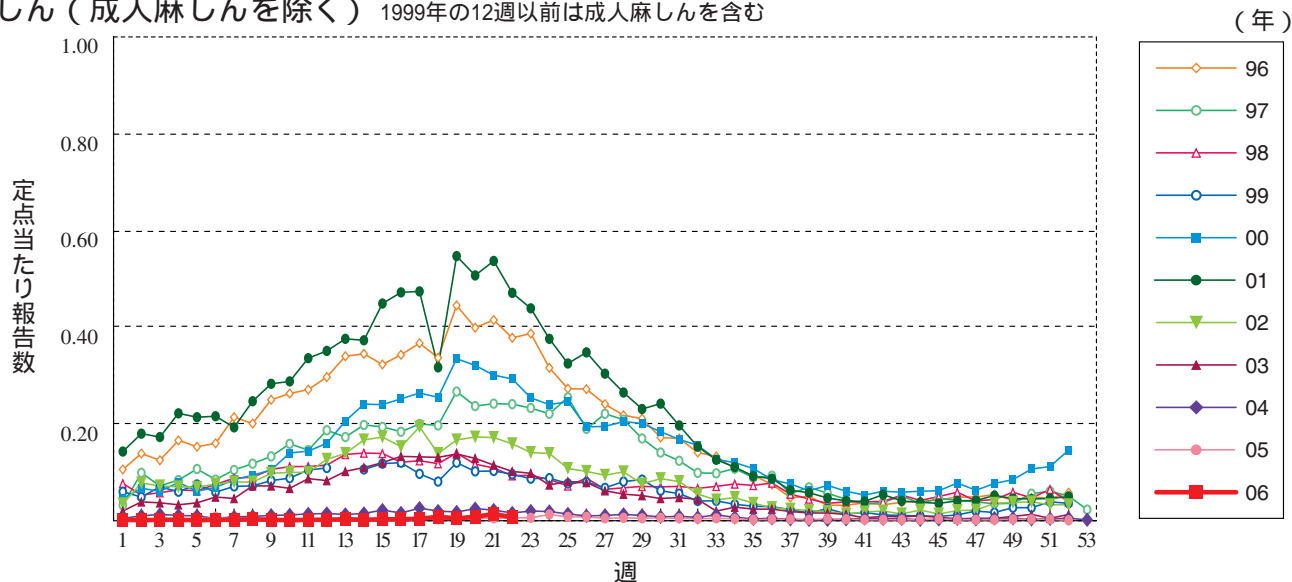
風しん



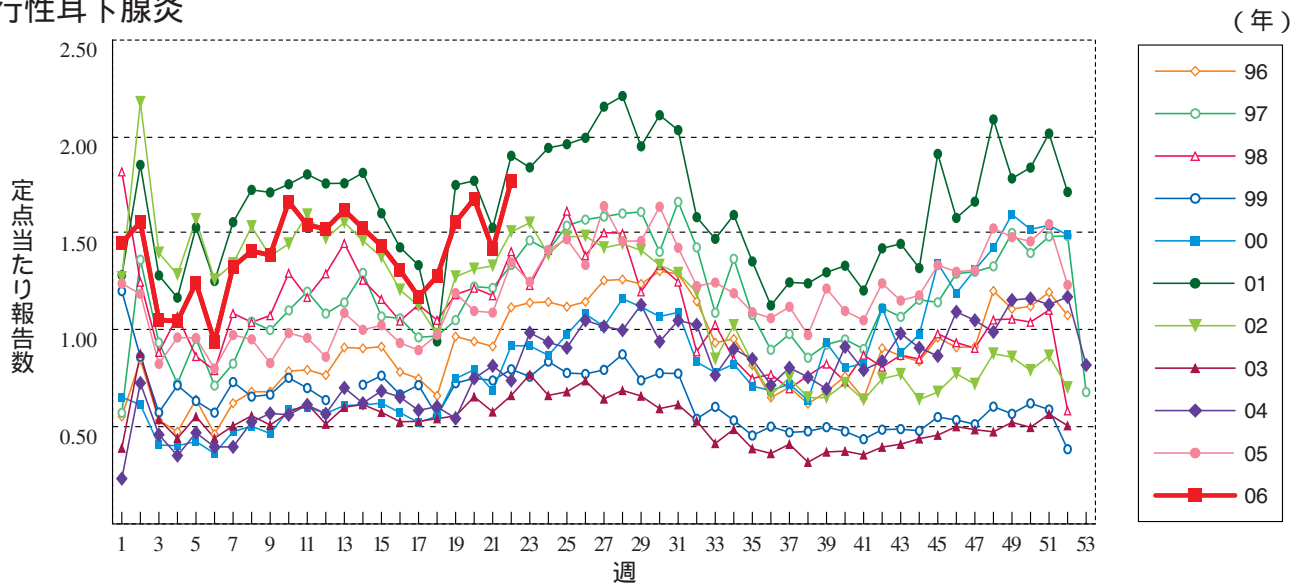
ヘルパンギーナ



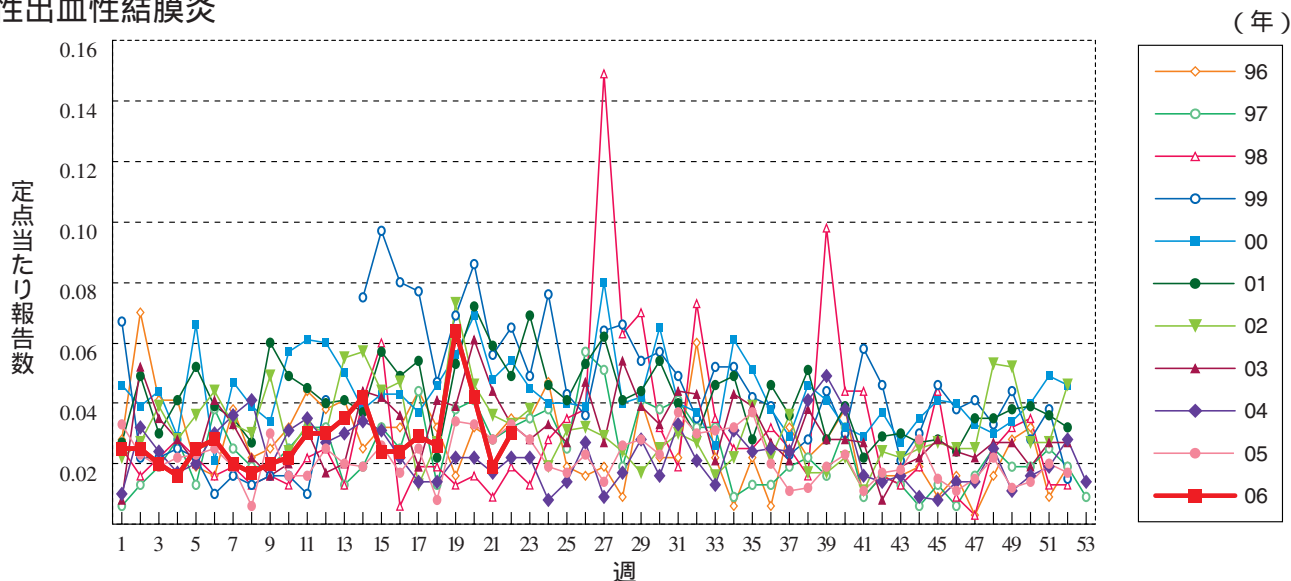
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



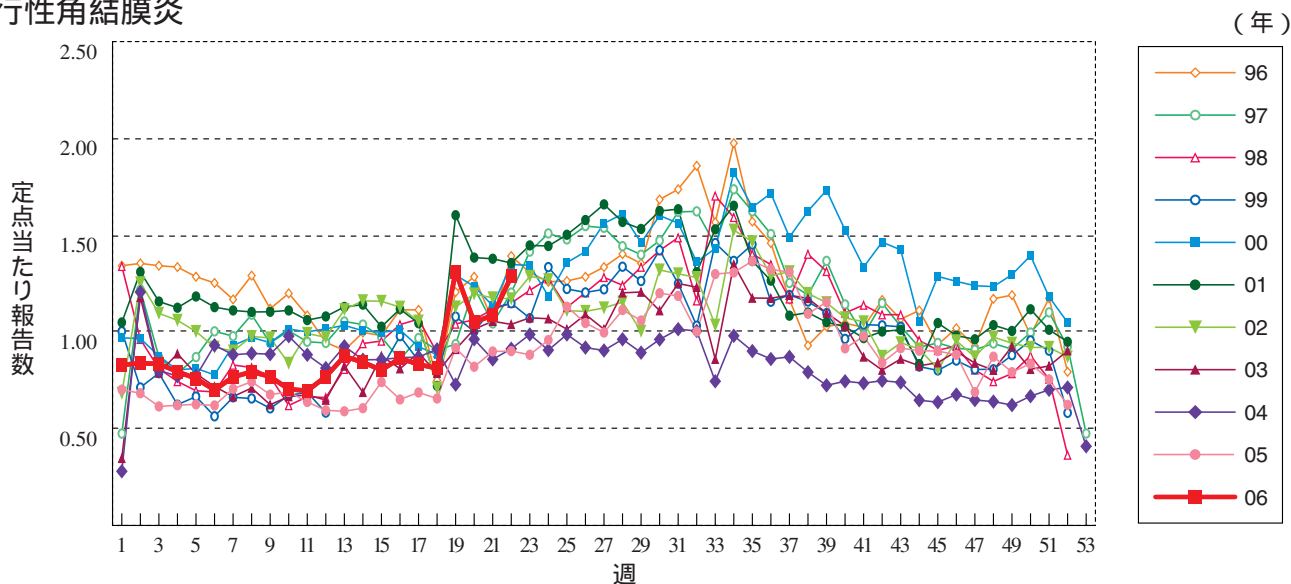
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

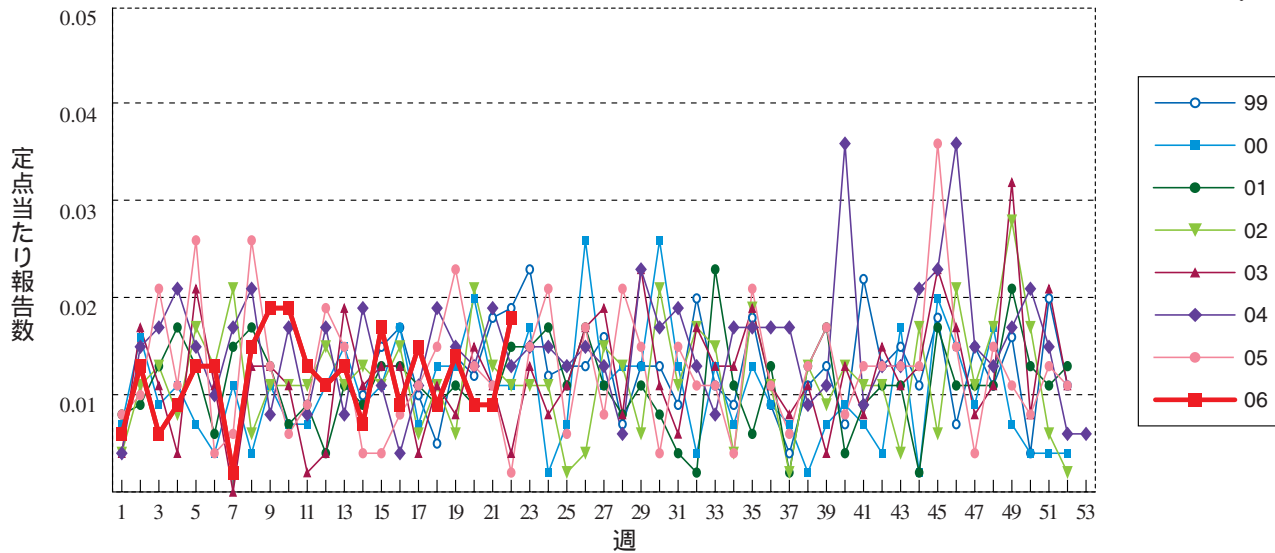


流行性角結膜炎



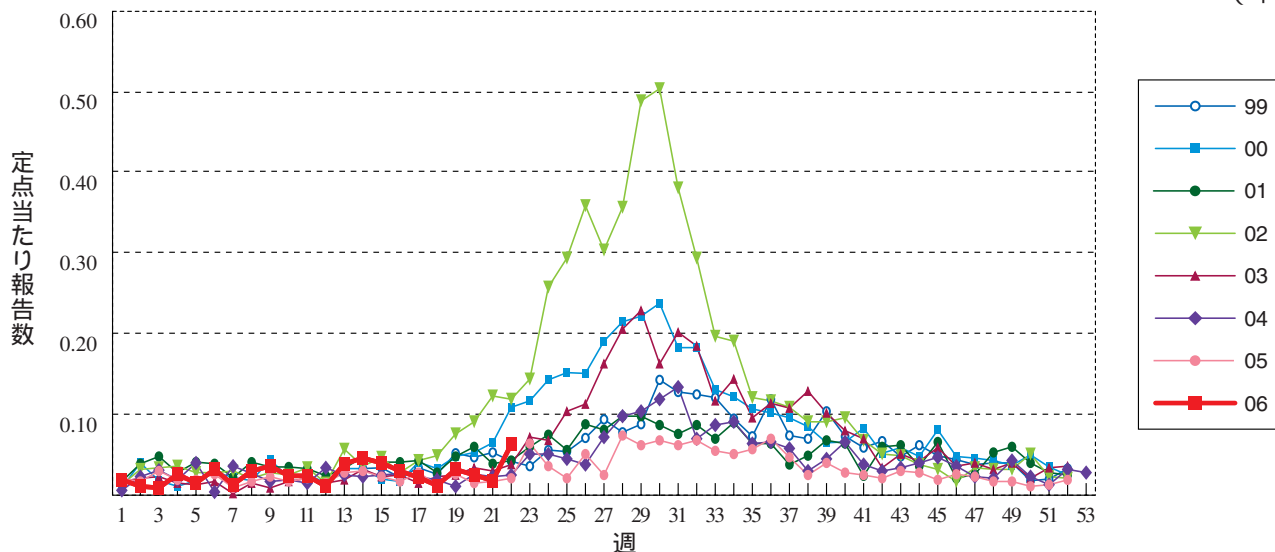
細菌性髄膜炎

(年)



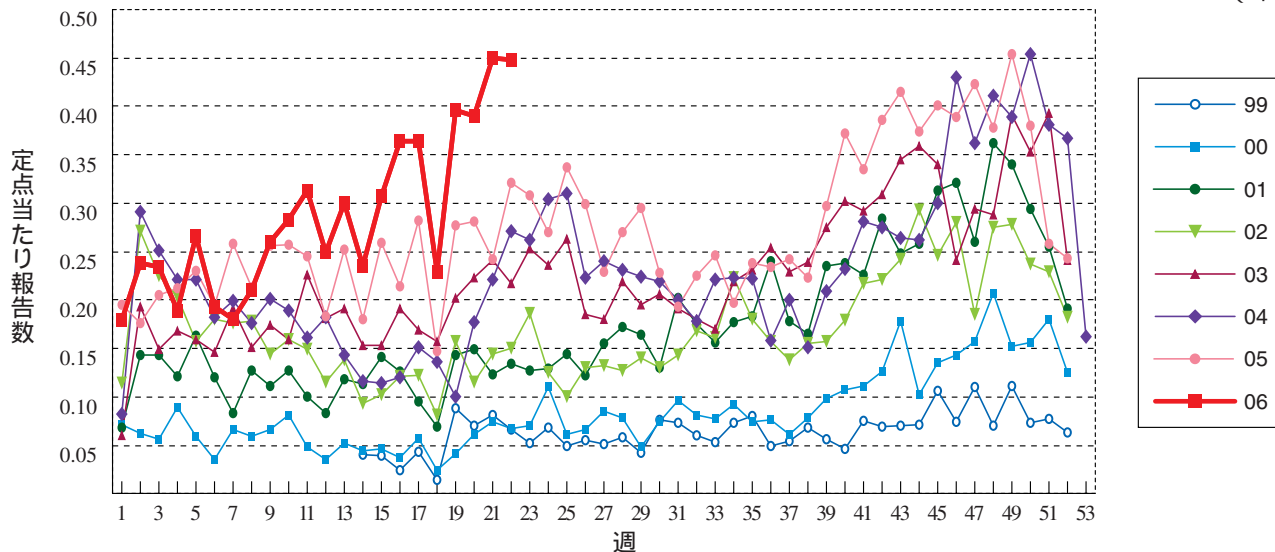
無菌性髄膜炎

(年)



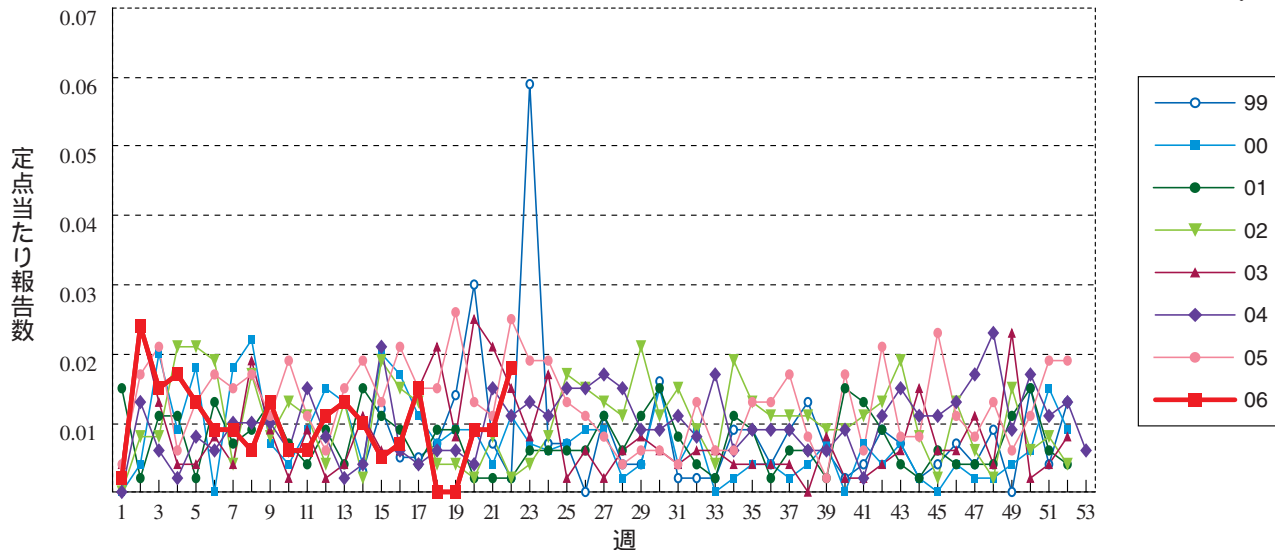
マイコプラズマ肺炎

(年)



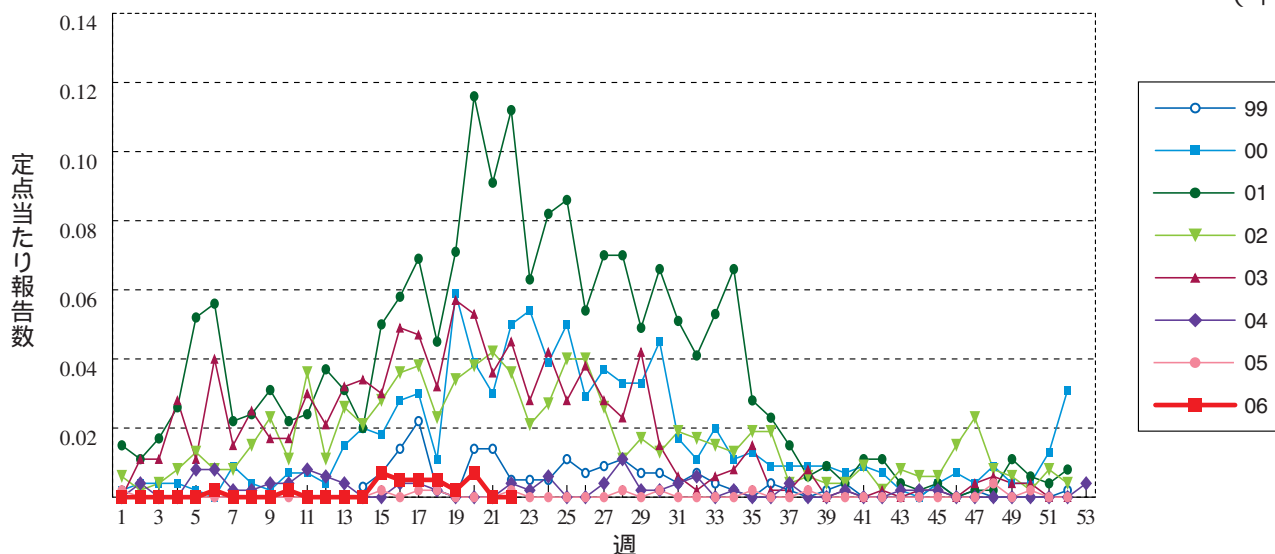
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



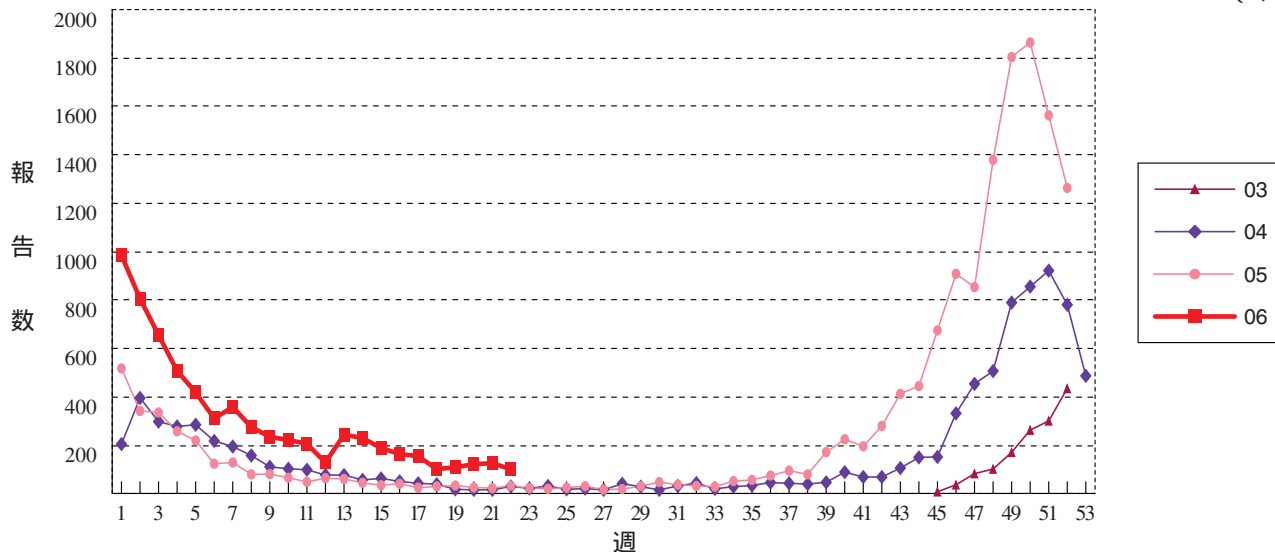
成人麻しん

(年)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





22週のデータ

注)表中の報告数は6月9日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2006年4月からの報告システムの変更に伴い、疾病の並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

2006年22週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		重症急性呼吸器症候群*		痘 そう		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		コレラ	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	細菌性赤痢		ジフテリア		腸チフス		パラチフス		腸管出血性大腸菌感染症		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		エキノコックス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	7	184	-	-	3	39	1	13	76	488	1	35	-	-	7	188	-	10
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	9	-	-	1	9	-	9
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	2	-	-	-
秋田県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	40	-	-	-	-	2	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	1	-	-	4	4	-	2	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	6	-	-	-	1	-	-	2	19	-	-	-	-	-	6	-	-
千葉県	1	35	-	-	-	4	-	1	4	16	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	28	-	-	-	12	-	9	2	33	1	1	-	-	2	21	-	-
神奈川県	1	8	-	-	-	6	-	-	4	32	-	6	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	7	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-
富山県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	8	-	1	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	1	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	1	-	1	2	6	-	2	-	-	-	2	-	-
岐阜県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	7	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	4	8	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	12	-	-	1	3	1	2	4	33	-	3	-	-	1	15	-	-
三重県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	1
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	1	1	-	-	2	8	-	-	-	-	-	7	-	-
大阪府	2	42	-	-	-	5	-	-	12	49	-	-	-	-	-	24	-	-
兵庫県	-	11	-	-	-	-	-	-	2	18	-	1	-	-	-	13	-	-
奈良県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	12	-	-
広島県	-	3	-	-	-	-	-	-	5	19	-	1	-	-	-	7	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	14	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	3	-	-
高知県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
福岡県	-	6	-	-	1	1	-	-	2	22	-	1	-	-	-	7	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	1	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	9	16	-	4	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	黄熱		オウム病		回帰熱		Q熱		狂犬病		高病原性鳥インフルエンザ		コクシジオイデス症		サル痘		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	炭 疽		つつが虫病		デング熱		ニパウイルス 感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	19	83	2	17	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	1	2
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	1	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	4	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス感染症		レジオネラ症		レプトスピラ症		アメーバ赤痢	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	1	1	20	-	-	-	-	-	-	8	146	-	-	6	274
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	5
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	8
千葉県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	1	22	-	-	4	75
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	17
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	9
愛知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	1	22
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	37
兵庫県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	20
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。
 **ウエストナイル脳炎および日本脳炎を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	4	95	1	84	-	7	2	75	2	55	20	467	1	33	-	7	-	-
北海道	-	4	-	2	-	-	-	5	1	5	-	14	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	2	-	2	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	5	-	-	-	1	-	1	1	16	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	1	4	-	-	-	3	-	1	-	14	-	1	-	1	-	-
千葉県	-	2	-	10	-	-	-	3	1	5	3	22	-	-	-	-	-	-
東京都	1	17	-	4	-	5	-	9	-	6	10	170	1	12	-	1	-	-
神奈川県	-	5	-	2	-	1	-	6	-	4	1	23	-	2	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
富山県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
石川県	1	1	-	3	-	-	-	-	-	2	1	4	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	4	-	-	-	3	-	5	-	-	-	-
長野県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	4	-	1	-	-	-	3	-	3	-	6	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	5	-	3	-	-	-	2	-	6	1	32	-	2	-	1	-	-
三重県	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	5	-	-	-	-	-	-
京都府	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	8	-	5	-	1	-	4	-	2	1	48	-	4	-	-	-	-
兵庫県	-	10	-	4	-	-	1	2	-	3	1	17	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	2	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-
広島県	-	2	-	5	-	-	-	4	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	6	-	-	-	1	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2006年22週

	梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	5	240	1	28	-	-	-	30
北海道	-	4	1	1	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	6	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	4	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	2	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	7	-	3	-	-	-	1
東京都	1	39	-	2	-	-	-	3
神奈川県	-	9	-	2	-	-	-	5
新潟県	-	3	-	1	-	-	-	2
富山県	-	1	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-
長野県	-	3	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	22	-	1	-	-	-	-
三重県	1	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	3	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	15	-	1	-	-	-	4
兵庫県	-	10	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	1
広島県	-	4	-	1	-	-	-	-
山口県	-	8	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	1	11	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	15	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	13	-	2	-	-	-	1
大分県	-	4	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	2	-	3	-	-	-	-
鹿児島県	1	10	-	2	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	1	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4371	0.99	3766	1.25	7953	2.63	14865	4.92	8449	2.79	2009	0.66	2183	0.72	2117	0.70	33	0.01
北海道	893	3.97	104	0.73	539	3.77	575	4.02	285	1.99	13	0.09	32	0.22	47	0.33	-	-
青森県	129	1.98	18	0.43	54	1.29	84	2.00	66	1.57	-	-	30	0.71	29	0.69	-	-
岩手県	235	3.73	7	0.18	31	0.79	132	3.38	84	2.15	3	0.08	4	0.10	15	0.38	-	-
宮城県	57	0.58	20	0.33	196	3.21	370	6.07	183	3.00	32	0.52	36	0.59	49	0.80	-	-
秋田県	165	3.00	34	0.97	100	2.86	136	3.89	83	2.37	3	0.09	23	0.66	21	0.60	1	0.03
山形県	10	0.21	29	0.97	106	3.53	121	4.03	113	3.77	3	0.10	41	1.37	22	0.73	2	0.07
福島県	39	0.49	31	0.65	137	2.85	279	5.81	156	3.25	5	0.10	47	0.98	41	0.85	-	-
茨城県	4	0.06	58	0.77	272	3.63	202	2.69	178	2.37	11	0.15	84	1.12	38	0.51	2	0.03
栃木県	1	0.01	34	0.72	63	1.34	117	2.49	89	1.89	30	0.64	36	0.77	37	0.79	5	0.11
群馬県	12	0.12	41	0.67	140	2.30	308	5.05	121	1.98	5	0.08	24	0.39	42	0.69	-	-
埼玉県	1	0.00	330	2.06	573	3.58	1007	6.29	420	2.63	54	0.34	208	1.30	124	0.78	1	0.01
千葉県	14	0.07	84	0.67	390	3.12	511	4.09	337	2.70	31	0.25	123	0.98	80	0.64	2	0.02
東京都	6	0.03	147	1.05	289	2.06	613	4.38	213	1.52	35	0.25	115	0.82	100	0.71	-	-
神奈川県	22	0.08	336	1.64	606	2.96	1010	4.93	513	2.50	50	0.24	214	1.04	161	0.79	3	0.01
新潟県	22	0.27	84	1.38	275	4.51	305	5.00	227	3.72	49	0.80	24	0.39	23	0.38	-	-
富山県	8	0.17	21	0.72	140	4.83	190	6.55	86	2.97	2	0.07	12	0.41	18	0.62	-	-
石川県	6	0.13	23	0.79	97	3.34	168	5.79	92	3.17	13	0.45	-	-	13	0.45	-	-
福井県	6	0.19	69	3.14	83	3.77	254	11.55	64	2.91	50	2.27	6	0.27	12	0.55	-	-
山梨県	-	-	21	0.91	37	1.61	75	3.26	44	1.91	-	-	18	0.78	9	0.39	-	-
長野県	6	0.07	65	1.18	183	3.33	337	6.13	257	4.67	14	0.25	27	0.49	31	0.56	-	-
岐阜県	14	0.18	97	1.83	73	1.38	111	2.09	145	2.74	208	3.92	47	0.89	25	0.47	1	0.02
静岡県	-	-	73	0.85	219	2.55	487	5.66	263	3.06	111	1.29	124	1.44	51	0.59	-	-
愛知県	30	0.15	316	1.74	490	2.69	734	4.03	525	2.88	516	2.84	177	0.97	121	0.66	2	0.01
三重県	59	0.81	63	1.40	148	3.29	291	6.47	134	2.98	56	1.24	31	0.69	37	0.82	-	-
滋賀県	63	1.21	46	1.44	63	1.97	116	3.63	99	3.09	18	0.56	25	0.78	10	0.31	-	-
京都府	11	0.10	87	1.18	145	1.96	415	5.61	197	2.66	33	0.45	64	0.86	26	0.35	-	-
大阪府	39	0.19	291	1.54	514	2.72	1080	5.71	585	3.10	76	0.40	77	0.41	150	0.79	1	0.01
兵庫県	278	1.48	192	1.51	271	2.13	633	4.98	453	3.57	121	0.95	66	0.52	68	0.54	3	0.02
奈良県	8	0.18	53	1.51	96	2.74	148	4.23	82	2.34	8	0.23	1	0.03	19	0.54	-	-
和歌山県	6	0.12	47	1.52	69	2.23	151	4.87	107	3.45	26	0.84	17	0.55	27	0.87	1	0.03
鳥取県	47	1.62	13	0.68	70	3.68	91	4.79	45	2.37	5	0.26	27	1.42	19	1.00	-	-
島根県	23	0.70	37	1.61	37	1.61	129	5.61	58	2.52	7	0.30	39	1.70	23	1.00	-	-
岡山県	154	1.90	60	1.11	51	0.94	256	4.74	120	2.22	71	1.31	17	0.31	22	0.41	-	-
広島県	111	0.97	82	1.14	206	2.86	363	5.04	214	2.97	15	0.21	48	0.67	57	0.79	2	0.03
山口県	7	0.10	43	0.88	103	2.10	408	8.33	123	2.51	12	0.24	19	0.39	55	1.12	-	-
徳島県	45	1.15	19	0.79	11	0.46	75	3.13	57	2.38	52	2.17	2	0.08	17	0.71	1	0.04
香川県	67	1.31	86	2.69	45	1.41	163	5.09	64	2.00	98	3.06	19	0.59	24	0.75	-	-
愛媛県	116	1.90	73	1.97	76	2.05	213	5.76	162	4.38	36	0.97	12	0.32	29	0.78	-	-
高知県	2	0.04	18	0.58	41	1.32	104	3.35	105	3.39	14	0.45	5	0.16	15	0.48	-	-
福岡県	338	1.71	155	1.29	415	3.46	805	6.71	444	3.70	32	0.27	121	1.01	143	1.19	4	0.03
佐賀県	54	1.38	30	1.30	38	1.65	59	2.57	116	5.04	4	0.17	14	0.61	24	1.04	-	-
長崎県	166	2.37	51	1.16	51	1.16	142	3.23	95	2.16	5	0.11	24	0.55	38	0.86	1	0.02
熊本県	188	2.35	40	0.83	69	1.44	278	5.79	112	2.33	53	1.10	40	0.83	63	1.31	-	-
大分県	22	0.38	33	0.92	124	3.44	281	7.81	110	3.06	3	0.08	11	0.31	44	1.22	-	-
宮崎県	56	0.93	48	1.30	127	3.43	288	7.78	194	5.24	3	0.08	39	1.05	45	1.22	-	-
鹿児島県	100	1.08	118	2.11	65	1.16	205	3.66	140	2.50	13	0.23	12	0.21	30	0.54	-	-
沖縄県	731	12.60	39	1.15	25	0.74	45	1.32	89	2.62	10	0.29	1	0.03	23	0.68	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	14	0.00	4477	1.48	22	0.01	5360	1.77	19	0.03	808	1.29	8	0.02	28	0.06	198	0.45
北海道	-	-	18	0.13	1	0.01	295	2.06	2	0.07	17	0.59	1	0.05	-	-	1	0.05
青森県	-	-	17	0.40	-	-	96	2.29	-	-	14	1.27	-	-	-	-	11	1.83
岩手県	-	-	32	0.82	-	-	29	0.74	-	-	22	1.83	1	0.05	-	-	11	0.58
宮城県	-	-	21	0.34	-	-	125	2.05	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.58
秋田県	-	-	38	1.09	1	0.03	17	0.49	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.38
山形県	-	-	19	0.63	-	-	49	1.63	1	0.13	4	0.50	-	-	-	-	2	0.20
福島県	-	-	54	1.13	-	-	140	2.92	-	-	18	1.50	-	-	-	-	2	0.33
茨城県	-	-	42	0.56	1	0.01	207	2.76	-	-	60	4.62	-	-	-	-	3	0.50
栃木県	2	0.04	42	0.89	1	0.02	84	1.79	-	-	31	2.58	-	-	4	0.57	3	0.43
群馬県	-	-	170	2.79	-	-	112	1.84	2	0.14	36	2.57	1	0.13	-	-	13	1.63
埼玉県	-	-	538	3.36	1	0.01	268	1.68	1	0.03	37	0.93	-	-	-	-	12	1.33
千葉県	-	-	216	1.73	6	0.05	152	1.22	-	-	31	0.94	-	-	2	0.22	4	0.44
東京都	-	-	355	2.54	1	0.01	112	0.80	-	-	20	1.43	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	2	0.01	430	2.10	3	0.01	294	1.43	2	0.05	102	2.49	1	0.13	1	0.13	6	0.75
新潟県	-	-	107	1.75	-	-	195	3.20	-	-	15	1.67	-	-	1	0.08	1	0.08
富山県	-	-	45	1.55	-	-	63	2.17	-	-	6	0.86	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	24	0.83	-	-	22	0.76	-	-	4	0.57	-	-	1	0.20	2	0.40
福井県	1	0.05	10	0.45	-	-	12	0.55	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	20	0.87	-	-	78	3.39	-	-	4	0.50	-	-	-	-	1	0.10
長野県	-	-	40	0.73	-	-	211	3.84	2	0.18	13	1.18	-	-	2	0.18	2	0.18
岐阜県	-	-	12	0.23	-	-	31	0.58	-	-	8	0.80	-	-	-	-	13	2.60
静岡県	-	-	92	1.07	-	-	234	2.72	-	-	17	0.85	-	-	-	-	5	0.50
愛知県	-	-	162	0.89	-	-	192	1.05	1	0.03	26	0.74	1	0.08	1	0.08	12	0.92
三重県	-	-	49	1.09	-	-	116	2.58	-	-	1	0.08	-	-	-	-	2	0.25
滋賀県	-	-	17	0.53	-	-	27	0.84	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	70	0.95	-	-	72	0.97	-	-	13	0.81	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	2	0.01	434	2.30	-	-	235	1.24	2	0.05	15	0.37	-	-	7	0.64	28	2.55
兵庫県	1	0.01	119	0.94	2	0.02	232	1.83	1	0.03	50	1.43	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	19	0.54	-	-	20	0.57	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	9	0.29	-	-	50	1.61	-	-	5	1.25	-	-	-	-	4	0.36
鳥取県	-	-	33	1.74	-	-	50	2.63	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	16	0.70	-	-	42	1.83	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.63
岡山県	2	0.04	65	1.20	1	0.02	130	2.41	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	45	0.63	3	0.04	81	1.13	-	-	52	2.74	-	-	1	0.05	7	0.33
山口県	-	-	146	2.98	-	-	152	3.10	-	-	14	1.56	-	-	-	-	2	0.22
徳島県	-	-	23	0.96	-	-	46	1.92	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	34	1.06	-	-	61	1.91	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	149	4.03	-	-	59	1.59	-	-	30	3.75	1	0.17	4	0.67	2	0.33
高知県	-	-	39	1.26	-	-	33	1.06	-	-	3	1.00	-	-	-	-	5	0.71
福岡県	-	-	193	1.61	-	-	195	1.63	1	0.04	35	1.35	-	-	2	0.13	3	0.20
佐賀県	-	-	69	3.00	-	-	23	1.00	-	-	1	0.25	-	-	-	-	5	0.83
長崎県	-	-	71	1.61	-	-	53	1.20	3	0.38	9	1.13	1	0.10	-	-	6	0.60
熊本県	-	-	160	3.33	-	-	47	0.98	-	-	17	1.89	1	0.07	-	-	2	0.13
大分県	-	-	90	2.50	-	-	85	2.36	-	-	3	0.60	-	-	1	0.09	-	-
宮崎県	1	0.03	65	1.76	-	-	132	3.57	-	-	22	5.50	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	2	0.04	51	0.91	1	0.02	333	5.95	-	-	9	1.29	-	-	1	0.08	2	0.17
沖縄県	-	-	7	0.21	-	-	68	2.00	-	-	20	2.00	-	-	-	-	7	1.00

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 2006年22週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	8	0.02	-	-	100
北海道	-	-	-	-	14
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	1
栃木県	1	0.14	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	2
石川県	1	0.20	-	-	-
福井県	-	-	-	-	3
山梨県	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	9
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	6
兵庫県	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	2
岡山県	2	0.40	-	-	5
広島県	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	2

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2006年22週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第8巻 第22号 2006年6月16日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
<国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
<厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。